ACTION COMICS

クール教信者

Coolkyousinnjya

10

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

10 クール教信者

Coolkyousinnjya

ACTION COMICS

もくじ

第88話 小林と声 …… 005
第89話 イルルと恋？ …… 021
第90話 アーザードとジョージー …… 037
第91話 トールとふたりっきり …… 053
第92話 エルマとテルネ …… 069
第93話 アーザードとジョージーII …… 085
第94話 トールと逆鱗 …… 101
第95話 翔太と成長痛 …… 117
第96話 トールとエルマIII …… 131

私は基本
面倒が嫌いな
人間だ

そりゃ
大切なモノが
あれば
抱え込む
こともある

だが
どうにも
魔法だの主任だの
守護者だの
背負わされ
すぎている
気がするのだ

第88話 小林と声

おっとおっと
どうしたの？と

プロフ

めんどうくせぇ～～～

守護者とか
やりたくないし
厄介事も これ以上
増えてほしくないん
ですけどぉ～
ああ そういう
話かい
まぁ 小林さん
僕に相談できる
ことがあったら
言ってよ
うん…
その時は
よろしくね
小林さんは
どうしたのだ？
んー 前から
あんなもんだよ
時々 ふっと
いろいろ
面倒くさく
なるんだ
いや…小林さん
だけじゃなくて
誰しもそういう
時はあるのかな？
そんなことでは
ダメだぞ
いついかなる
時も責任感を
持ってだな…
お 一言ありなら
もう1軒
回ろうか？
おー 行こう
行こう！
おいしい
串カツ屋を
見つけてな！

思うに…
1人の時間が
なくなった
気がする

トール達と
過ごす時間が
嫌なわけはない
だけど 自分1人で
1日を過ごすことも
たまにはしたい
かもしれない
自分自身のことを
振り返れるのは
自分1人
なのだから

ならば1人で
どこかへ旅立って
しまうのはどうだ？
いや…だから
トール達といることは
私にとっても
大事な時間で…
……

誰？
……

……
ポリポリ
飲みすぎたかな…

ただいまー
おかえりなさい！

いってきまーす
はーい
いって
らっしゃい
ませー！

ん？
あれ？

そっか
今日 休みだ！
祝日に ちゃんと
休めるんだった！
慣れねぇ!!

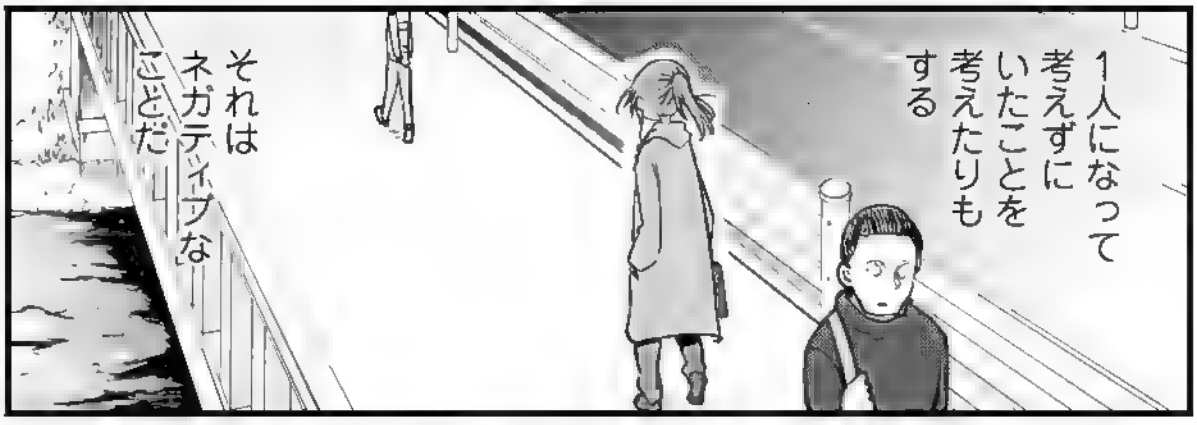
鍵かかってるな…
なんで…
ガタ
ガタ
…… あ!!

いや…
たまには1人で
ぶらぶらして
みるかな…

じゃあ
このまま
帰宅…

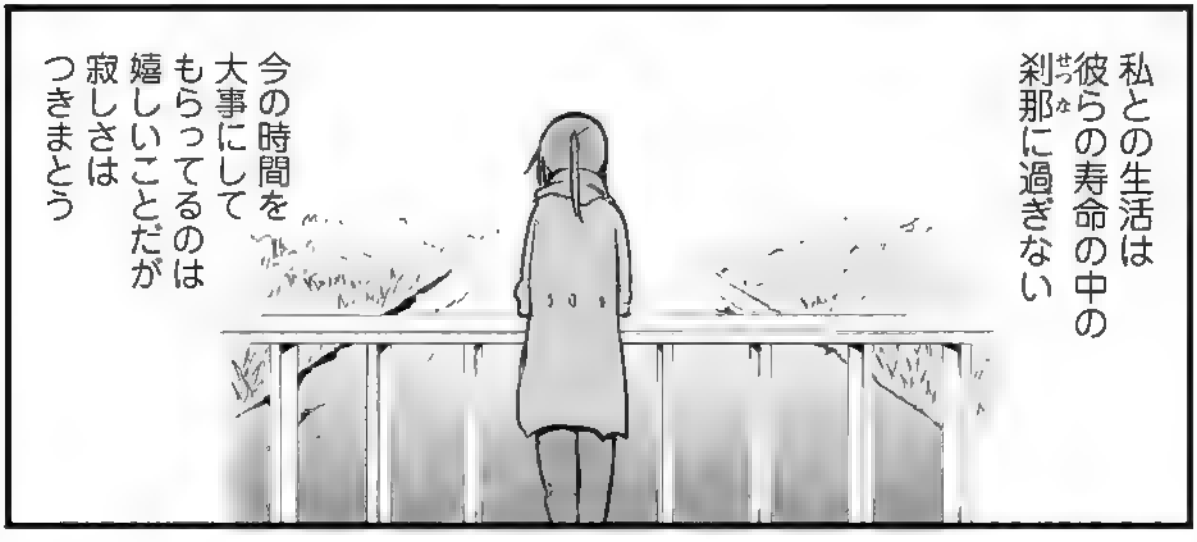
……
ピタ…

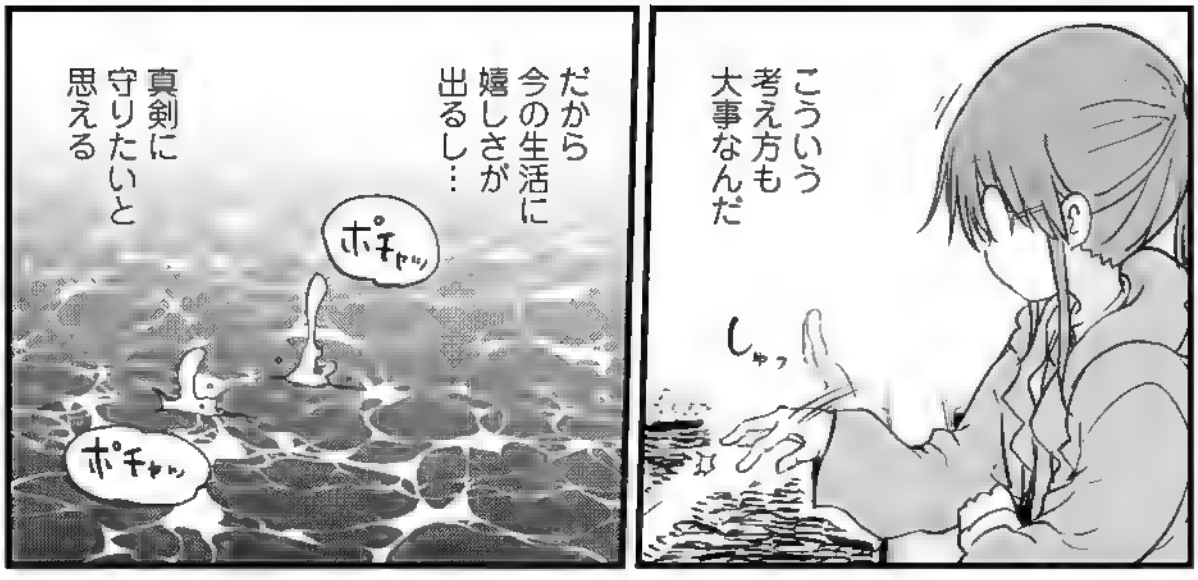
DAM
DIM
DEM
実用書
プログラム


1人になって
考えずに
いたことを
考えたりも
する
それは
ネガティブな
ことだ

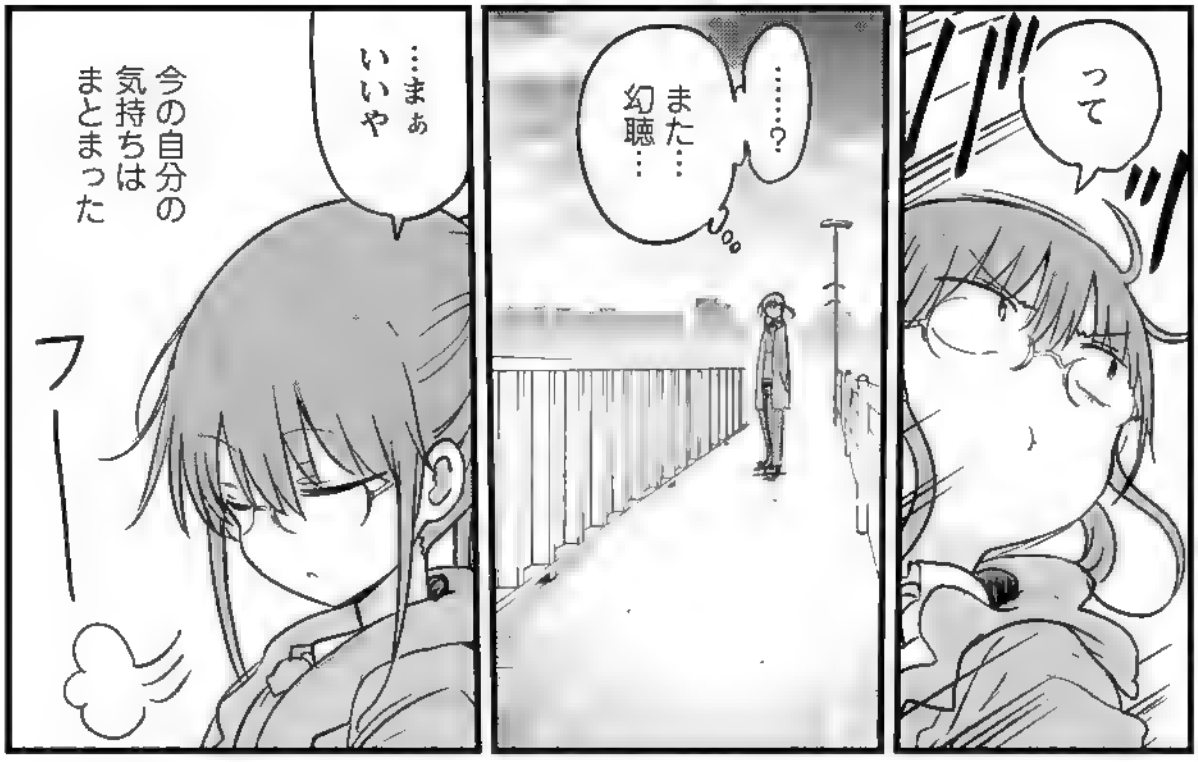
ドラゴン達が
この先 この世界に
何の問題も起こさず
平穏に暮らして
いけるだろうか…

そして
平穏だったと
しても…
ギァア…

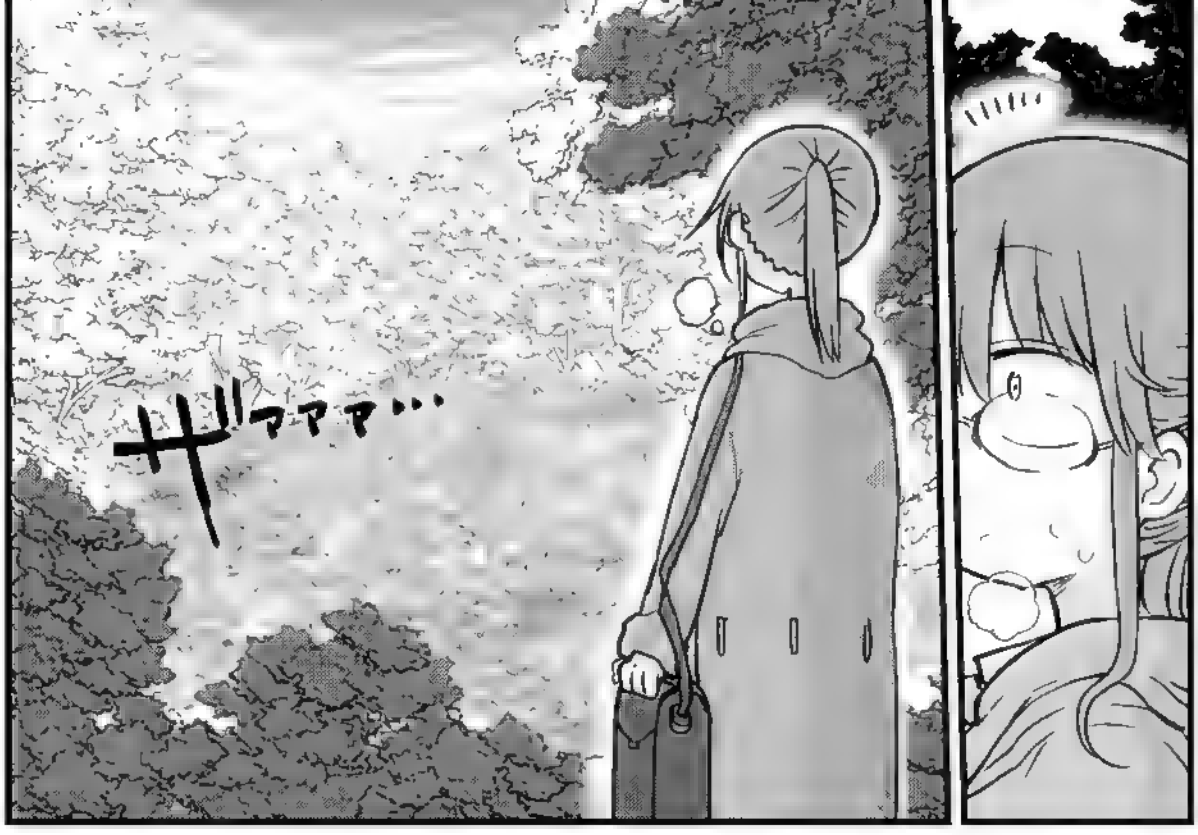

私との生活は
彼らの寿命の中の
刹那に過ぎない
今の時間を
大事にして
もらってるのは
嬉しいことだが
寂しさは
つきまとう

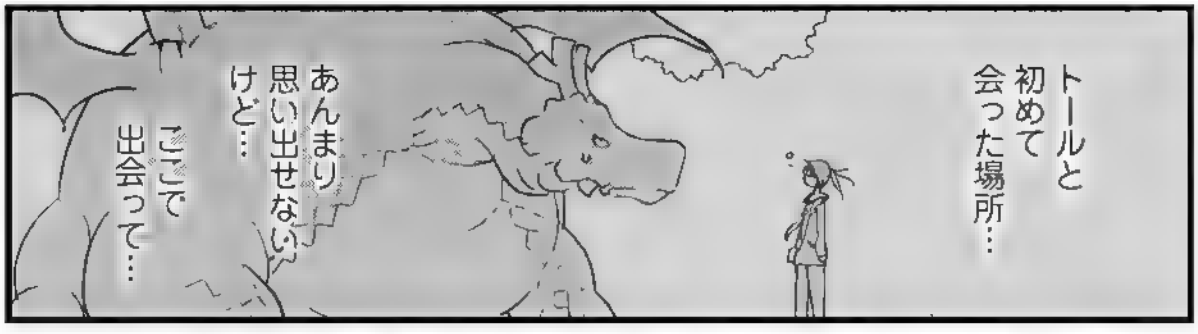

こういう
考え方も
大事なんだ
しゅっ
だから
今の生活に
嬉しさが
出るし…
真剣に
守りたいと
思える
ポチャッ
ポチャッ

相手にとっては
一瞬のような
時間なのに
命を懸けて守るのは
馬鹿らしく
ないか？
いや…
そこまで
ネガティブには
ならないよ


って
……？
また…
幻聴…
…まぁ
いいや
今の自分の
気持ちは
まとまった
フー

我ながら
お手軽だ…
性格上
これで
しばらくは
変に考える
こともない
そろそろ
帰るか…
あ
剣はどこへ行ったんじゃ？
そうだ…
最後に…
あそこに
行って
みようかな
プシュー
ここだっけ…
酔ってた
からなぁ…
ザッ
ザッ
でも 身体が
覚えてるような…


サワワワ…


トールと
初めて
会った場所…
あんまり
思い出せない
けど…
ここで
出会って…

酒盛りして…
いや その前に
剣を抜いたん
だっけ…
剣…
どこいったん
だろう…
キョロ…
案外 近くに
あるかもよ？

いたずらしてんの誰なのさ
いや…ここにいるんだけど姿見えない？
というか声も段々届かなくて…
こっちか！

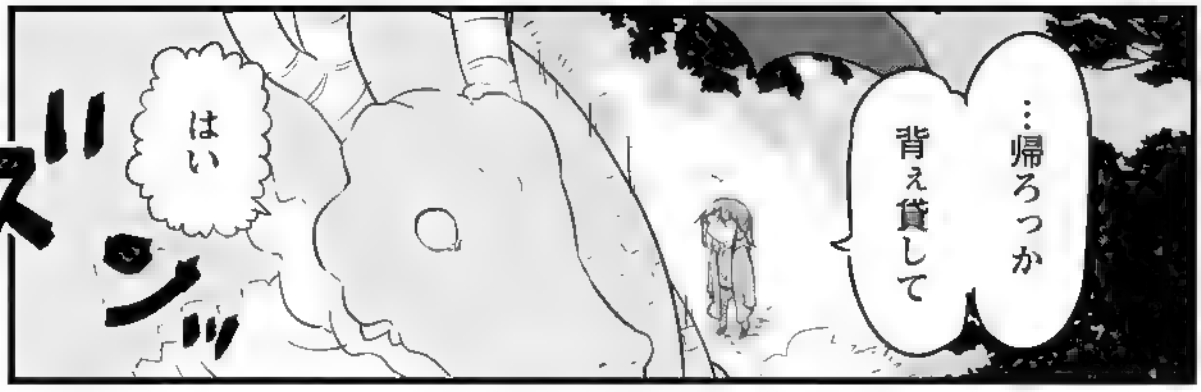
え？
…あれ!?
トトール？何でここに…
今のいたずらもトールなの？
何のことです？
小林さんこそ何でここに…

まさか
トールの
ラブパワーが
小林さんを
呼び寄せて
しまった!?
愛は時空と
勤務時間を
越えるん
ですね!?
ドキ
ドキ
無意識に
そんなこと
されたら
怒るわ
…会社が
休みでさ…
せっかくだから
1人でいろいろ
ぶらつきたく
なって…
最後に
ここに来た

トールは?
私は…よく
ここに
来てまして
ここは私達の
始まりの地です
色んな想いを
振り返れます
私は今
色んな営みに触れ
生活をしていますが

1人になって
いろいろ
考えたい時も
あります
それは少し
暗いこと
だったり…
あ でも
だからこそ
明るさを求める
ものだったりして…

……ぷっ
え!?
な 何で
笑うん
ですか!?
いや…
おっか
しーの！
何で
同じこと
考えてんだろ
？
？
ワクワク…
それは私達が
以心伝心で
繋がっている
ベストカップル
だからです！
うわー
それは まだ
認めたくねー
なぁんで
ですかー!!


…帰ろっか
背ぇ貸して
はい
スリンッ

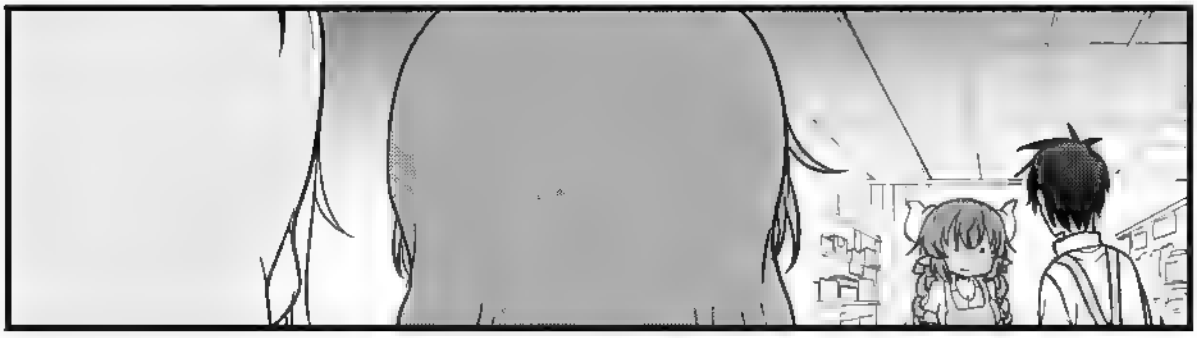
ところで
トール
さっき
認識阻害で
いたずらしてる子
とかいなかった？
え？ いえ
そういうのが
いたら わかると
思いますけど

何だったんだ？
第88話／おわり

考えてみると
何で私 こんな
山奥まで
来てるんだ…
酔いとは
恐ろしいな
今更ですか…
私も驚きましたよ

小悪魔ヒナ
ナイトラゴン

おいイルル
右の棚の品数を数えてくれ
ぴくっ
おぼろ商店
？
どうした？
おおーわかったぞ
トテ



恋の予感がするわ
乞い…
命乞い？
才川 誰かに命乞い？私が守る
あらありがとうカンナさん
でも全然違うのよ

第89話 イルルと恋？
死

トール様と小林みたいになりたいってこと？
方向性は合ってると思うわ

イルルがタケにこ…
む
な な なんでもないわぁ！

何の話をしてるんだ
トテ

どうした才川？
ひそ
自分で気付いてないのよイルルさんは！
それに
言っちゃったら面白くないでしょ!!
ひそみ!!
おお…
ひそ
？

おい イルルー
ちょっと
いいか？
ん 今行く
トテトテ
タケは
イルルのこと
好きなのかな？

カンナさん
それは
大丈夫よ
男は皆
おっぱいに
弱いと聞くわ
うちの
クラスの
男子も よく
ここに来るのは
イルルさんの
胸を見に
来てるのよ
よってタケも
きっとそうよ
……
私も好き

私も好きよ
カンナさん…
よよ…
いつか自分の胸を
好きになろうね
うむ
それで
どうする
才川？

決まってるわ！
2人の恋を
応援するのよ！

面白いから？
もちろん！

次の日
作ってきた！
ボン
ボン

直接的じゃなくて影でさりげなく応援するのよ
さりげなく…暗躍!?

ほら才川の分！
フスッ
ありがとうカンナさん！
でも違うの～

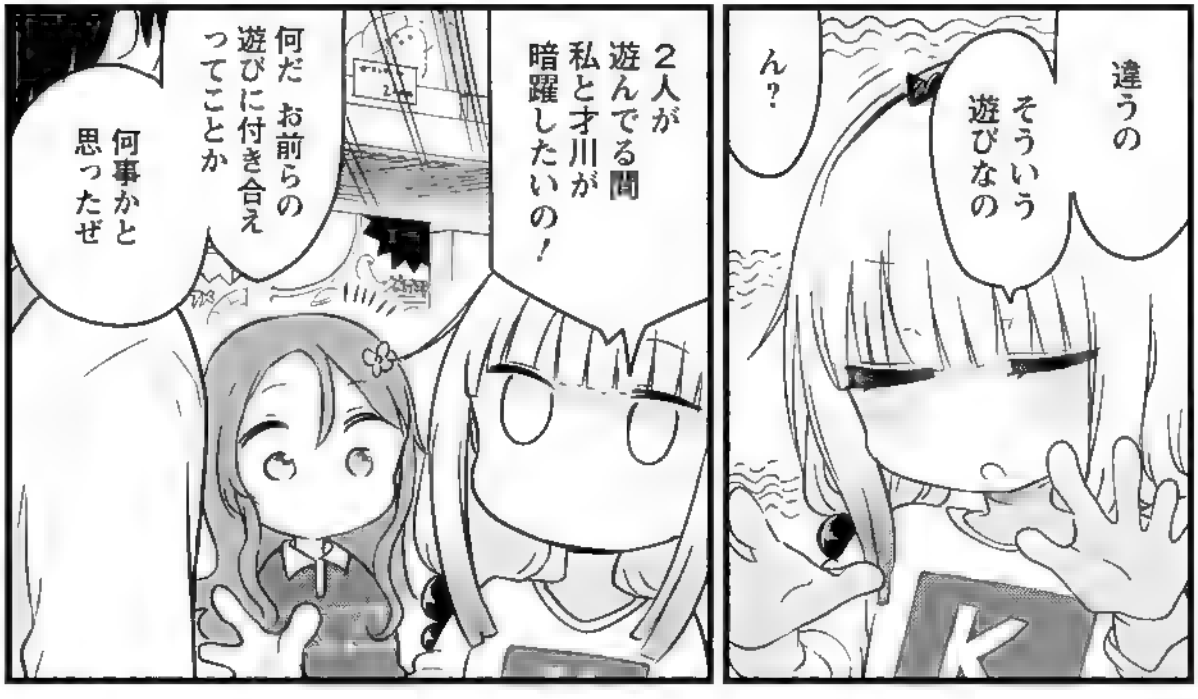
暗躍はよくない
大丈夫！いい意味で闇に蠢くの！

とりあえず私はね…
イルルさんとタケを2人っきりにしたい！

2人っきり？イルルとタケはいつもバイトで一緒
?
仕事じゃない時によ！
ママも言ってたわ
男は仕事の時の2人っきりよりもプライベートの2人っきりの方が独占欲が満たされてドキドキするって！

それならカンタン！
イルル！タケ！
今度 2人でどこか遊びにいって！
お願い！
!?
カンナさん正攻法がすぎるわ…
スタスタ

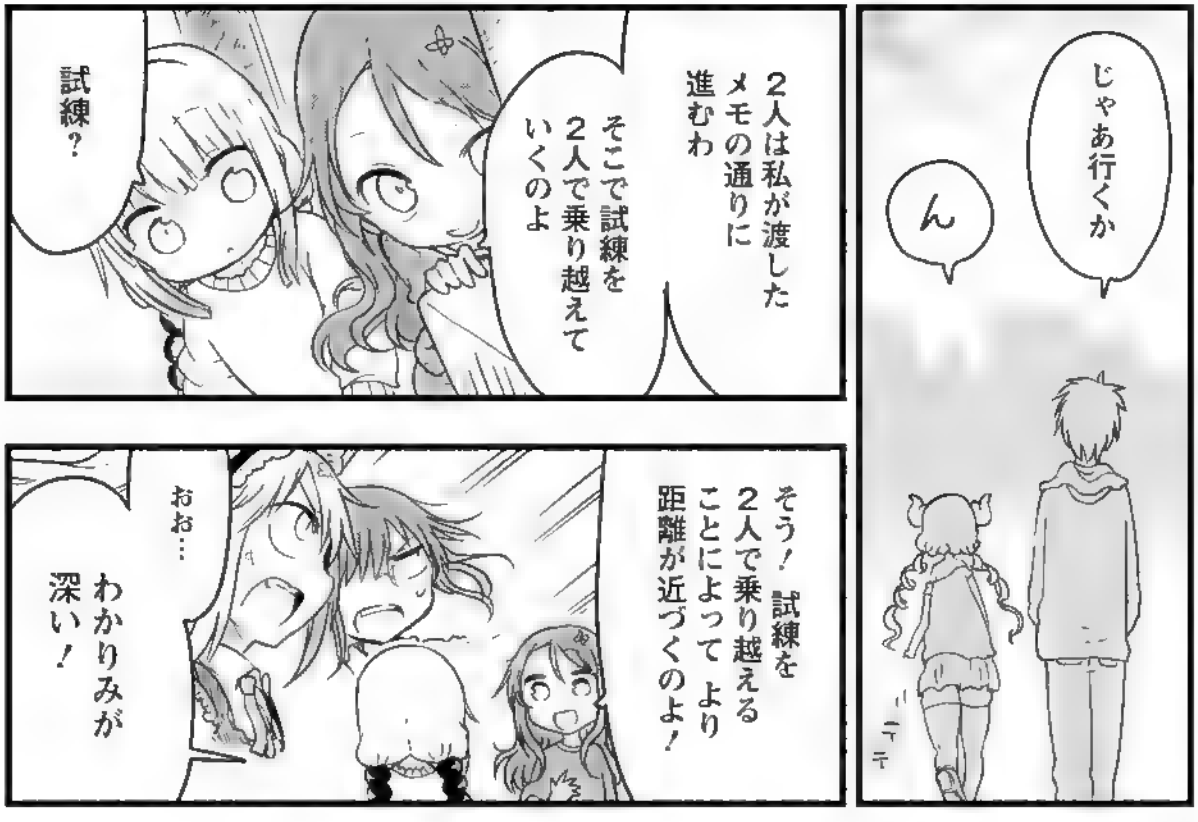
な何でだよ
俺達 2人で遊びにいくような関係じゃ…
なぁ？
ジ…
どうした？
何で黙ってる？
……


違うのそういう遊びなの
ん？
2人が遊んでる間私と才川が暗躍したいの！
何だお前らの遊びに付き合えってことか
何事かと思ったぜ

タケ
私はいいぞ？
この2人に付き合ってやろう？
……
……しゃーねぇなぁ…
!!
ヒマな学生を付き合わせるからってつまらない遊びをさせるなよ？
はーい！
でここからどうする？
カンナさん…恐ろしい子…！
キュッ…

そして
3日後
ザッ

よぅ
おぅ


じゃあ行くか
ん
2人は私が渡した
メモの通りに
進むわ
そこで試練を
2人で乗り越えて
いくのよ
試練？
そう！試練を
2人で乗り越える
ことによって より
距離が近づくのよ！
おお…
わかりみが
深い！

才川から渡されたメモの通りに進むんだ
ほう
まずは公園に行ってベンチの下を調べる
宝探しみたいだな
ここだ
一体何が？
知恵の輪？
メモ…
お２人で片方ずつ持って知恵の輪を解いてください
…なるほど
これウチで売ってるヤツじゃないか？
ああ俺は解き方知ってるぜ
ここをこうやってな
お
おい離れんな解きづらいだろ
俺だってはずいわ

解けた！
タケがゲームの方に意識が向いてしまっているわ
次よ次！
……
試練の内容が大したことない

次は…
砂場の中にボールを隠したから探せと
また公園か
だって公園以外で勝手に何か仕掛けたら怒られるかもしれないし…

これは簡単だな
ここの砂場は狭いから適当に掘っていけば…

み 見てないでボールを探せ
あと2見ろ！
むぁ～～～
み 見てねぇよ!!
これはいい感じね！

おっと
ハラッ
ギュッ
ど
ぽっ

その後も…
才川の試練を
2人で乗り越えて
いくのだが…
かくれんぼ
けんだま
リフティング

何か単調
どうした
才川
すぐに
発想が底をついて
適当に入れたの
才川…
でも最後のは
すごいわよ！
よーよー
兄ちゃんよぉ

おお テレビで
見たことある！
才川が
頼んだの？
フリョー
からむ
ヤーツ
あれ？
あれ？
頼んだけど…

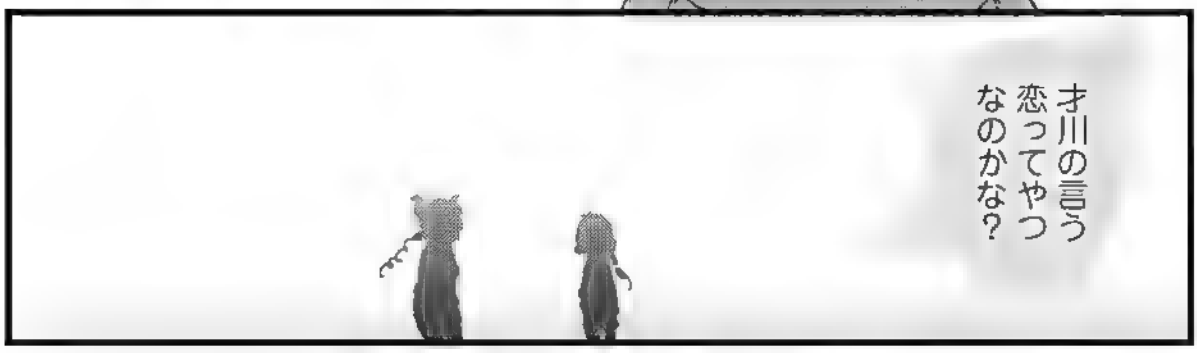
頼んだのは前に
ドッジボールで
戦ったお兄さん達
なんだけど…
oh…
あそこに
いる
ええ…じゃあ
あの不良達は
天然物なの…

かわいい子 連れて
歩いてんじゃん
少子化解決
すげーじゃん
俺らにも
恵んでくれよぉ
ケヘヘヘヘ！
オォ
オォ
オォ
ドラゴン
ブレイカーズ

へー
かっこいいじゃん
お兄ちゃんよぉ！
ぶっ飛ばすぜー
ぶっ飛ばして
やるぜー！
オマエ 今日
寝れねぇわ！
オラ オラ
あわわ
どうしよう
カンナさん!?
警察!?
自衛隊!?
アクション
仮面!?
落ち着いて
才川
イルルが
いるから
大丈夫…
…？
イルルは
何で力を
使わない？
仕方
ない…
カンナさん？

わぁぁぁぁん
!?
お兄ちゃんを
いじめないでぇ
えええええええ
な何だよ
ガキとも
遊んでたの
かよ
カンナさんを
泣かすな
このロリコン
変質者ァ！
うっせーな
軽くからかった
だけだろ！
いくぞ！
ホッ
だって…
イルル…
今何で…

タケが何か…
小林みたいに私を
守ろうとしてくれて…
う～～～
ギュ
胸がいっぱいで
動けなかった…
それが…
おぉ…


才川の言う
恋ってやつ
なのかな？

まったく イキる不良を
やるのも楽じゃねぇぜ
気を取り直して
あそこの
お姉さんにでも
声かけようぜ
よーよー
お姉さん！
ドラゴンブレイカー

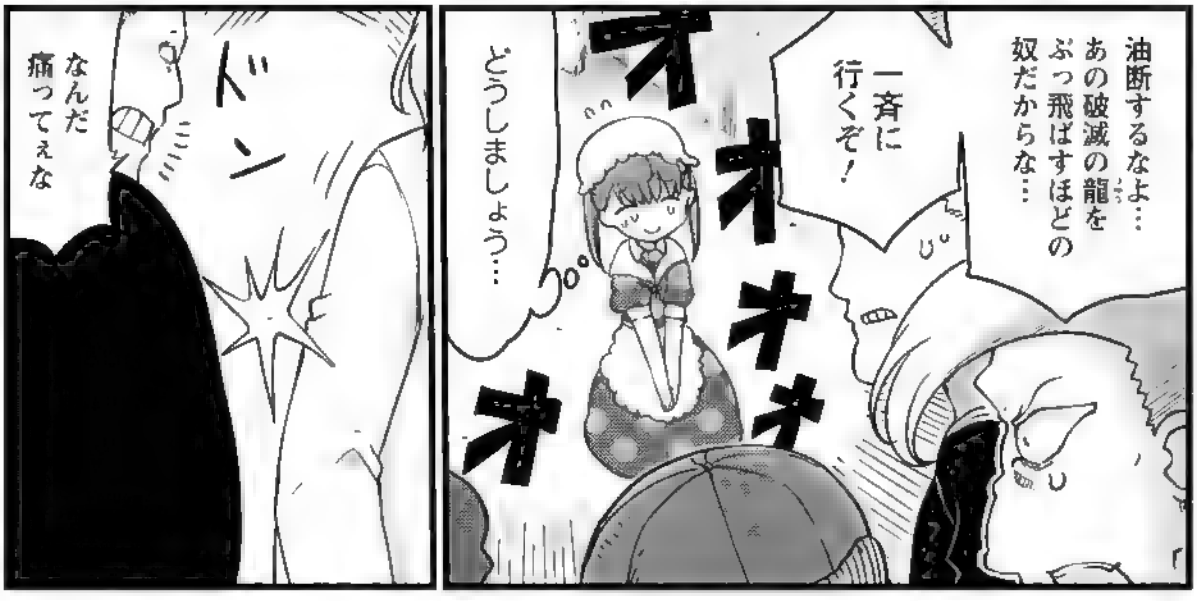
……はい？
その日…町から
また一つイキる
不良集団が消えた
第89話 おわり

ドラゴン
ブレイカーズ
X
壊滅

小林さんちの
メイドラゴン

あの…すみません
心当たりがなく…
人違いだと
思うのですが…

いーや
そんなはずは
ねぇ!!
街中を歩くメイド
なんて そうそう
いてたまるか!
ドラゴンバスターズと
ドラゴンブレイカーズを
やったメイドを倒せば
俺達
ドラゴンクラッシャーズの
名が上がるってもんだぜ!


油断するなよ…
あの破滅の龍を
ぶっ飛ばすほどの
奴だからな…
一斉に
行くぞ!
どうしましょう…
オオオオ
ドン
なんだ
痛ってぇな

第90話 アーザードとジョージー

こいつから先にやっちまえー!!

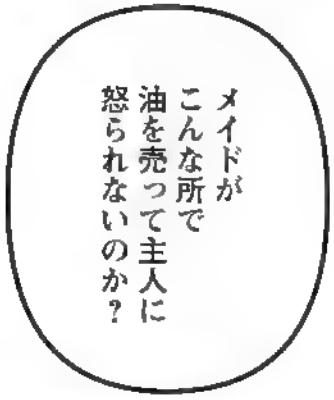
あ!
あの…

?
わっ

助けていただき
ありがとう
ございました
そんな
覚えはない…
あんな血の気の
多い連中
目ざわりなだけだ
皆 怪我されて
しまいましたね

……

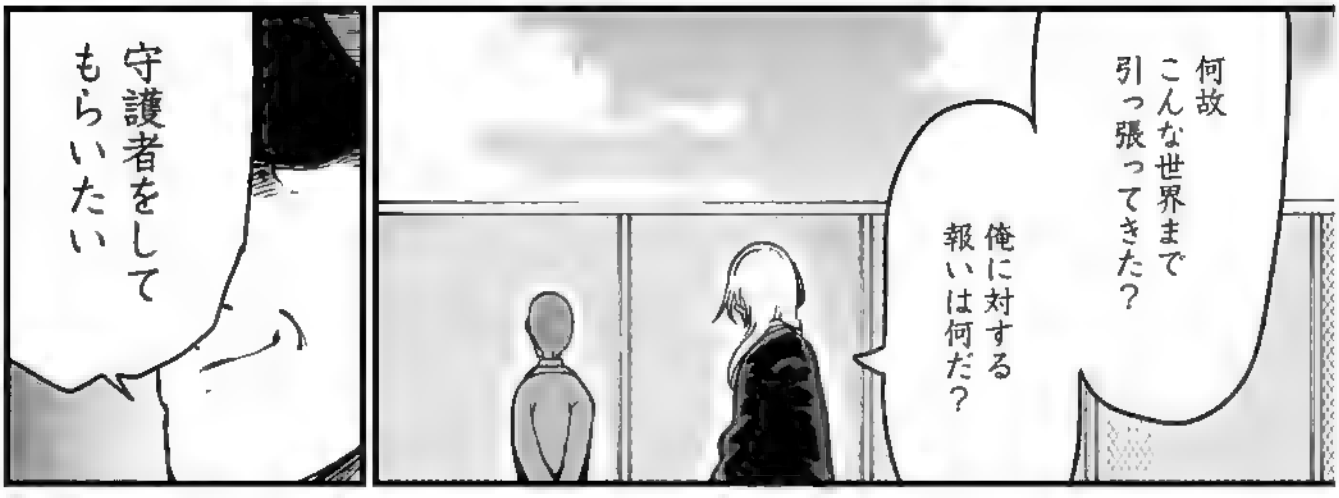
皆さん
手当て
しないと…
あなたも…


メイドが
こんな所で
油を売って主人に
怒られないのか？

私は
未熟でして

1週間前

師からドラゴンには
勝てないと
教わったはずだが
アーザード
俺の出来が
悪かったのは
知っているだろ…
兄弟子

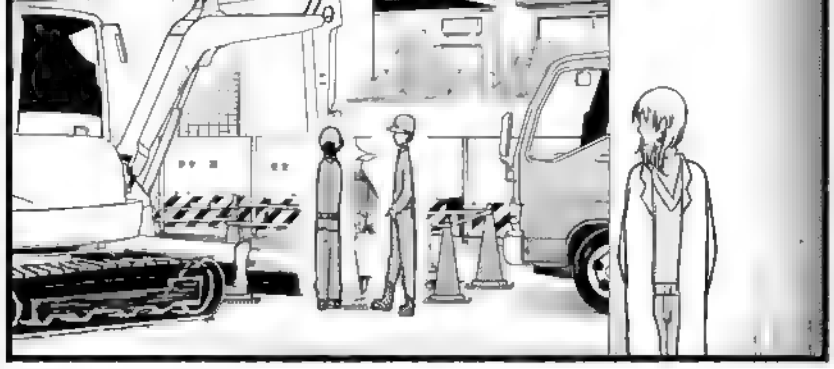

何故
こんな世界まで
引っ張ってきた？
俺に対する
報いは何だ？
守護者をして
もらいたい

やる内容は
この一帯にいる
異世界の者達が
よからぬことを
しないか内偵…
まぁ 信用度の
スコアをつける
異世界住人専門の
興信所といった
ところか…
断ったら？
全てを忘れて
平穏に過ごす
ことになる
……ッ

…わかった
マガツチなら
罪人の凶行に
走らせた動機を
記憶ごと消して
しまえる…
だが それは
俺にとって
何よりも
大切なものだ

俺に
選択肢は
なかった
はい
これで
いいですよ

あ…
ありがとう
お嬢さん あんたは
天使だ…！
俺達は
なんて
ことを…
え!?
えーと…
あの人…



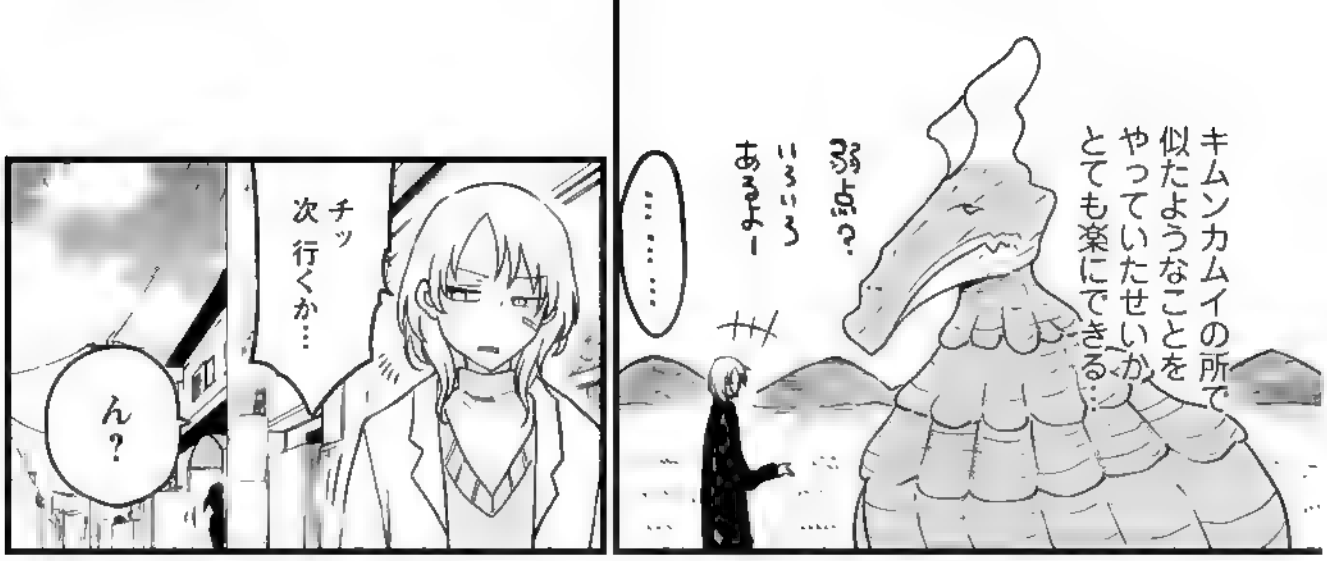
あのスライムは
水回りの仕事を
やっている
ようだな

俺の仕事は
この世界に
やってきた
異界の者達の
信用調査…
この地域に暮らす
者達の1日を
眺めるだけの
退屈な仕事だ

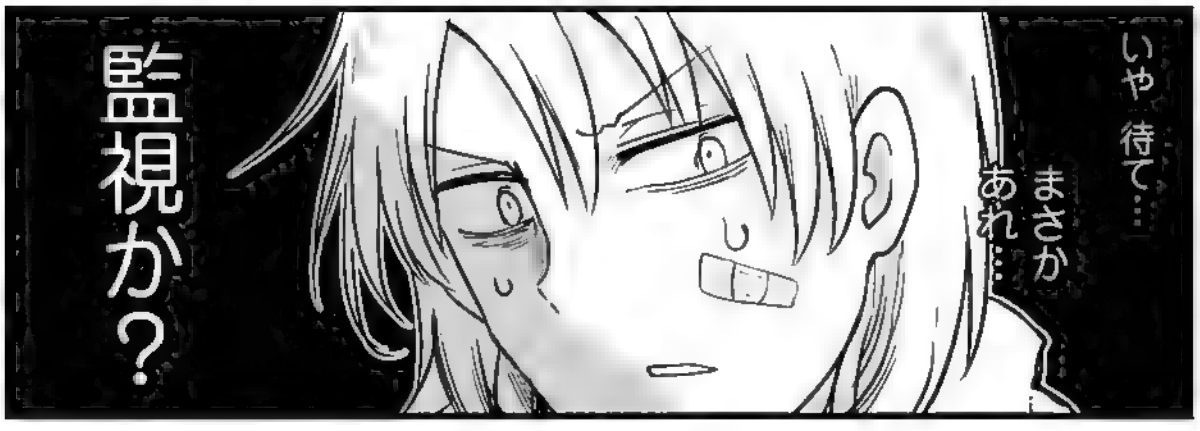
…なるほど
水が通るパイプの
どこが劣化しているか
水を通してわかるのが
自分の力を
さりげなく
日常に活かして
仕事をしている

周りとの信頼関係も
そこそこよいようだ
留意することと
いえば仕事後に
汗が出るようになれば
より自然に人間のふりを…

……
……いかんな
真面目に仕事を
してしまっている


キムンカムイの所で似たようなことをやっていたせいかとても楽にできる…
弱点？
いろいろあるよー
……
チッ
次行くか…
ん？

さっきの女の子？
じ――
まだ俺に何か用か？


いや 待て…
まさか あれ…
監視か？

当たり前だったな…
俺をそのまま野放しにするわけはない…
俺に仕事をあてがうくらいだ…
人手不足は深刻とみえる…
ジ――
……
ならば…
何かな？

もしかして
さっきのお礼でも
してくれるのかな？
こいつを懐柔して
いざという時に
脱出しやすくする
こんな子供1人
色んなおっさん
ドラゴンを口説き
おとしてきた俺に
かかれば楽勝だ
立ち話も
なんだから
そこのカフェで
お話でもしない？

数分後

すいません
執事服がとても
似合いそうな人
だったのでつい
眼に焼き付けて
おこうと…
思い出して
一緒に働く想像とかを
するとより臨場感を
味わえるというか…
急にこんな話して
すいませんでも私の服装で
特に気にしてなさそうな素振りを
見せる人は珍しいのでそういった
ものに興味がある方なのかなと
同志をいつも探している私は
そういう時にどうしても
自分を抑えきれなくなってしまう
タチでしてなのでもしかして
プライベートで執事服などを
違った…
こいつは
監視者
ではない
何か特殊な
変態だ
へー

というか
こっちに来て
わかったことだが

少なくとも
この国に
メイドの文化って
なくないか？

だったら小林は
何だったんだ

目立たず素性を
隠すために
終焉帝の娘を
メイドにしていた
のではなく
単なる趣味…？

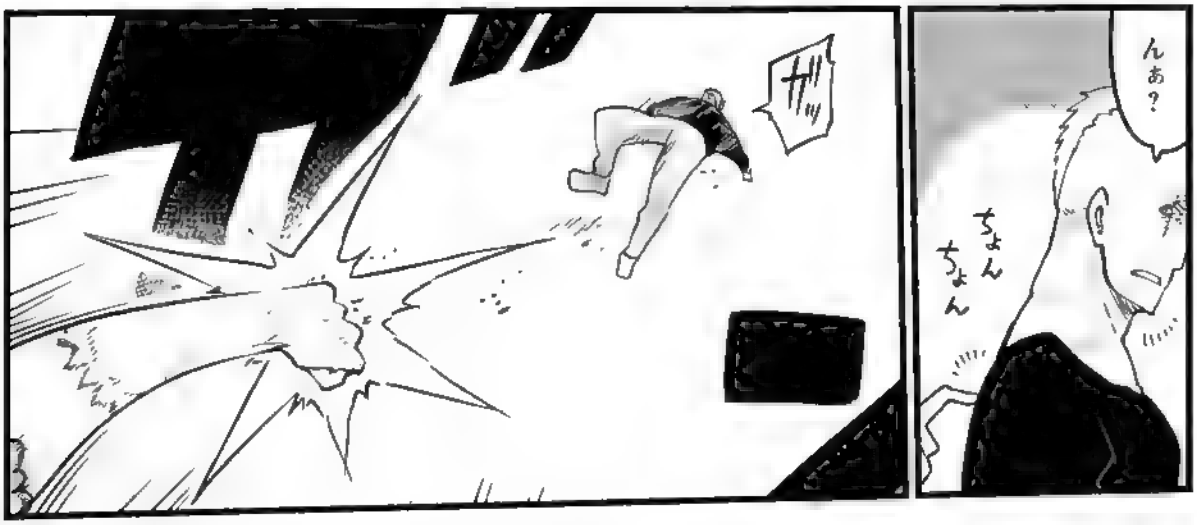
奴もまた
変態だったと
いうことか

俺は変態に
負けたのか…

ゴゴゴ
お前だな ドラゴンクラッシャーズを 倒したのは…
俺とも立ち会ってもらおうか…
あのメイドを倒すため山籠りしたけどよ…
この鍛えた力… まず お前で 試してやる…
龍
何で今日は 変人ばかりに 絡まれるんだ
大変なんですね
お前もだよ！
面倒事はごめんだ… 関わらないでくれ
そうか？
ニィ…
血生臭い ニオイがするぜ？
お前は戦うのが 好きなはずだ！
ちっ
言うだけ無駄か… このガタイ… 勝てるか？
キッ
お？ やるか？

いくぜえ！
ゴオッ
ダメです！
!?
おおお！
ガッ!!!

いい男だぁ！
今 手ぇ止めようと
思ったんだが信じて
殴りぬけて
よかったぜ！
さぁ
これからだ！
来な!!
馬鹿野郎
来るも何も
聖骸布すらない
今の俺に
こんなパンチ
耐えられるわけ…
ガクガク…


んぁ？
ちょん
ちょん

!?
ジェンッ
コオオ…

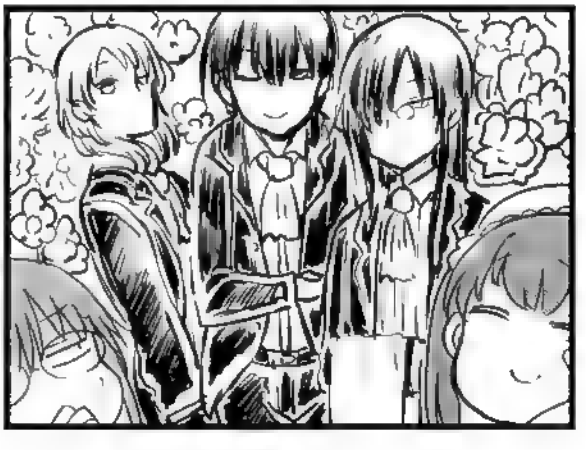
ビーも
監視者です
!?
ドサッ
思ったより
真面目に
やってるじゃ
ないですか

…今日は本当に
変な奴に会う
かわいいメイドさんに
2人も会えたら
祝福すべき日では
ないですかねー
それに…
これからも…
いくらでも
出会っていく
でしょう

……
……思ったより
きつい仕事に
なりそうだ

次の日

とても執事服が
似合いそうな方を
見かけたんです！
へー私も最近
そういう人
会ったよ
悪い人
だったけど
これは そのうち
着せられますね



小悪魔ドラゴン

休日
今日はカンナもイルルも才川さんの家でお泊まり会とやらをするらしい
いってきまーす
これは…
これはまさかまさかの…
久々に…
1日中…ッ
オハヨー
だら…
2人っきり!!

第91話 トールとふたりっきり

休日ずっと
2人っきり！
何も起こらない
はずありません！

さて…子供も
いないことだし…

!!

いきなり
きましたか!!

こ 困りますよ
小林さぁ〜ん
まだ朝っぱら
ですよぉ〜!!

でも限定的な
状況での
大胆さは
とってもいい!!

キュッ

ここは今
ソドムとゴモラの
風紀レベルと
なるんですね！

とりあえず
ビール

はいはい
わかってました…
休日モード
ですもんね
エロスよりも
バッコスですもんね…

?

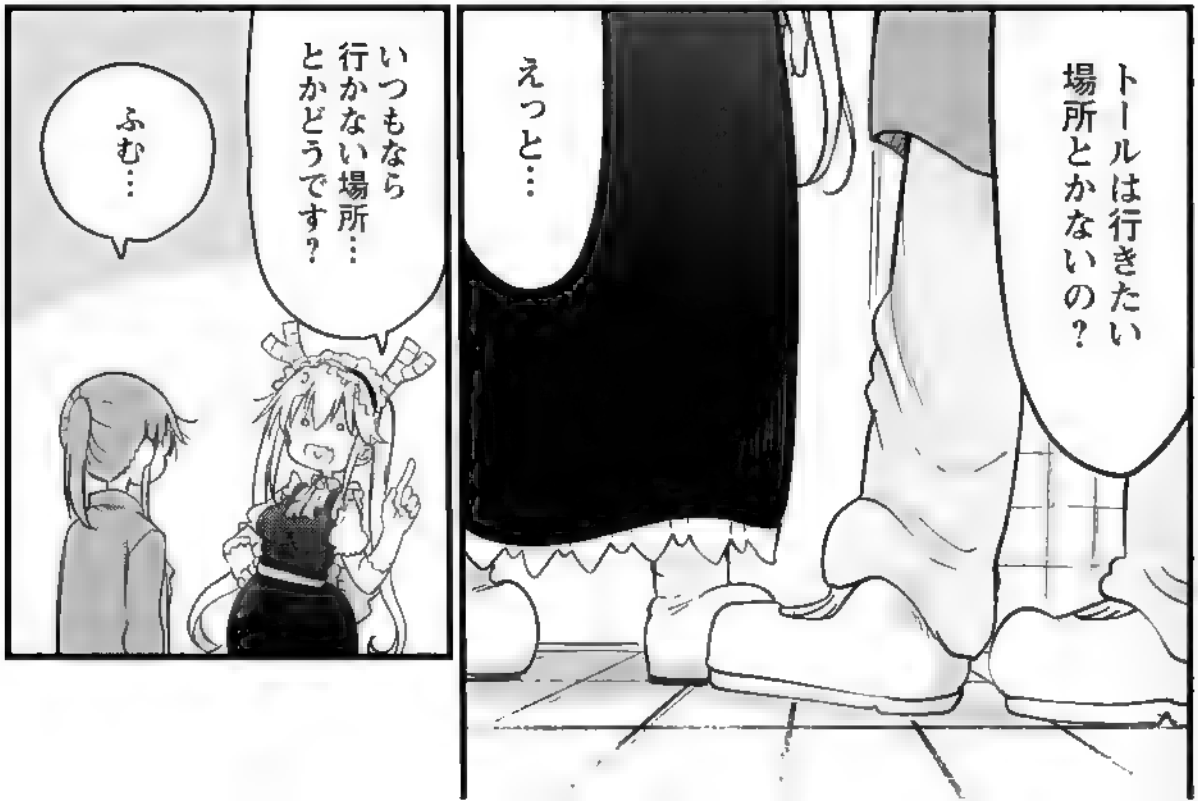
よよよ…

はい どうぞ
とく
とく
どもども
？
何をそわそわしてんだ？
あ そうか 久しぶりに 1日中 2人っきり だもんね
この空気 懐かしいや
じゃあ 一緒に テレビでも観て 過ごそうか
ほら こっち おいで
プイプイ
……
ヒッ
シタッ!!
？

※ベルフェゴール…怠惰を司る悪魔

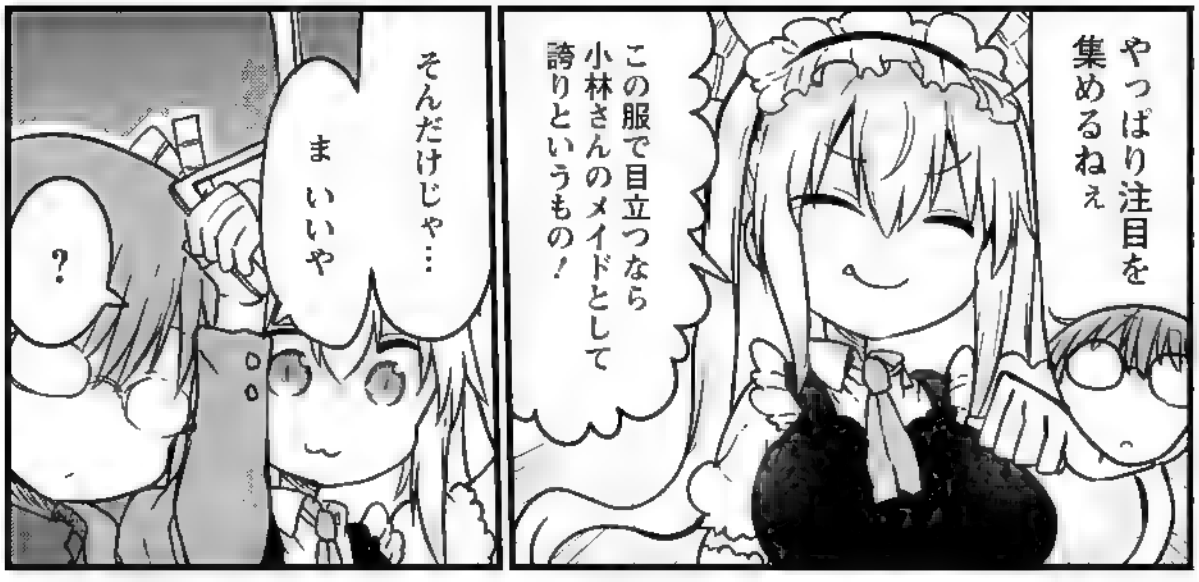
じゃあ
行こっか
はい…
はい！
どこへでも
行きますよ！
さぁ
屋上へ！
いやー
のんびり
歩こうよ…
今
乗ったら
酔っちゃうし

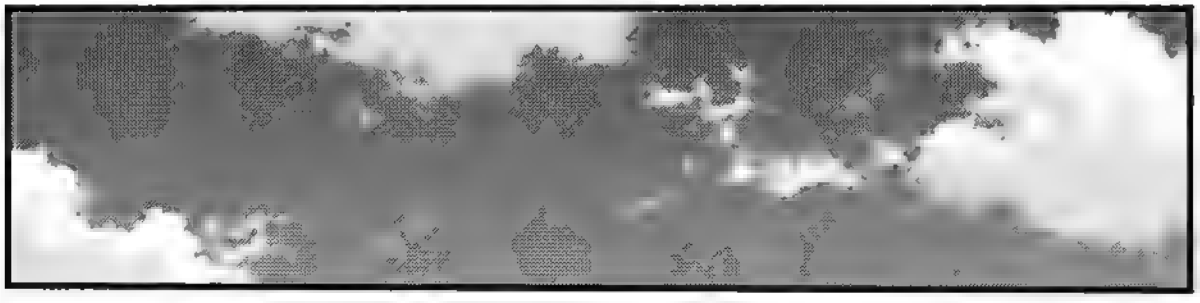
トールに
酔ってくれたら
いいじゃない
ですかー
意味が
違うし


トールは行きたい
場所とかないの？
えっと…
いつもなら
行かない場所…
とかどうです？
ふむ…

お台場でも
行くかい
ガタン
ゴトン…

なんか
電車に乗るのは
新鮮ですね
私も通勤以外で
乗るの新鮮かも
ニニニ
おや…？


やっぱり注目を集めるねぇ
この服で目立つなら小林さんのメイドとして誇りというもの！
そんだけじゃ…
まいいや
？



おー
確かに家の周りと雰囲気が大分違いますねぇ
海浜公園周りなら適当に時間つぶせるでしょ

あ！ 小林さん
あれ何ですか!?
自由の女神？
お台場にも
あるんだね
「自由」…
ふん こいつは
生かしておいて
やる！
何の
温情だよ
海上バス？
乗ってみようか
これが船
なんですか？
エルマより
ずっと乗り心地
いいですね
乗ったこと
あるんだ…
釣りしてますよ
釣り！
小林さんに
私の腕を
見せてあげます！
素潜り
素手掴みは
ダメだよ？
じゃあ 口で
飲み込むのは？
あぐー
鵜かよ
科学未来館？
ロボットとか
展示してある
みたいだよ
ロボットって
物語だけの存在じゃ
なかったんですか!?
ドラゴンが
何を言う…

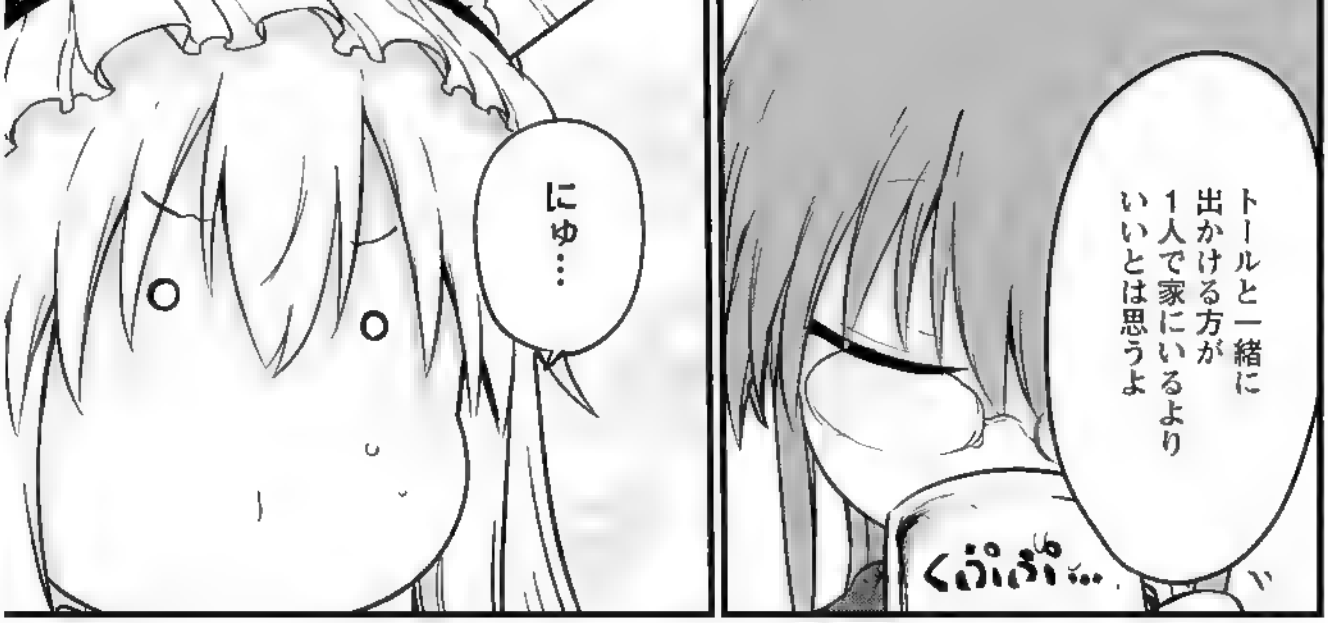
はぁー
出たら
お酒飲もう！
もー また
お酒
ですかぁ
それにしても…
少し建物の様子が
変わっただけで
まるで異世界に
来たみたいです
元々
異世界の
人なのに？
人が作り出す物を
細かく見ていけば
こんな狭い場所でも
いくらでも時間を
つぶせるんですね
そりゃ トールから
したら狭いかも
だけど…
後悔？
いえ…
少し後悔
しているん
ですよ

私は自分の世界を
旅して回って
世界のことが
わかった気に
なっていました…
だけど それは
私が地を歩く
ことに飽き
空から覗いた
遠くからの景色でしか
なかったのかも
しれないと…
今さらになって
振り返っちゃって
いるトールです
ふーん

私 きっと
また あの世界を
歩きます
今度は
ゆっくり
歩いて…

…うん

ぷはー！
ゴトッ
ま 2人っきりなら
こうして腹割って
話すこともあって
いいね
まだまだ
トールの話を
しただけ
ですよー
小林さんは
何か話
ないんですか？
んー
そうだなぁ…
やっぱ私に
こんな遠出は
向いてない
家でのんびり
してた方が
好きかもー
むむむ…
ええー
今日1日一緒に
楽しんだじゃ
ないですかー
トールが
いたからね
!?


トールと一緒に
出かける方が
1人で家にいるより
いいとは思うよ
くぷぷぷ…
にゅ…

でも トールと一緒に
家でぐーたら
するのが一番だね
もー 小林さんも
世界を広げ
ましょうよー

小林さん
またトールが
じろじろ見られて
ますよー

ふっふー
このメイド服の
威光にひれ伏せ
人間どもー!!
いや それは
メイド服じゃなくて
トールが美人だから
見てるんだよ
本当 自覚
ないんだから

え…
なんで急に
照れるのさ!
小林さんに
言われたから
ですよー!

ラブホテル
ヘルメス
エウリ
NO

小林さんちの
メイドラゴン

会社の昼休み終わり

な？ あそこの新作スイーツおいしかっただろ？

うん… エルマはああいうの見つけるのうまいよねぇ

当然だ！ 私はより良く人間さんを導くために研鑽の日々を重ねているのだ！

研鑽の日々…のぅ？

！

あ

テルネちゃん

お一 小林！ 元気にしておったか

そしてエルマ…

ジロ…

……

……ご

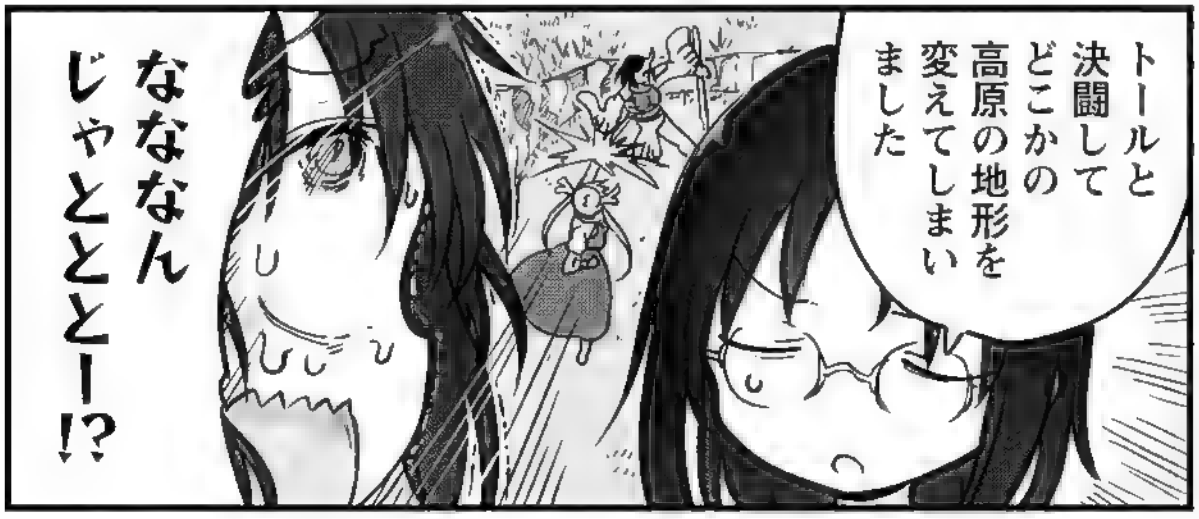
第92話 エルマとテルネ

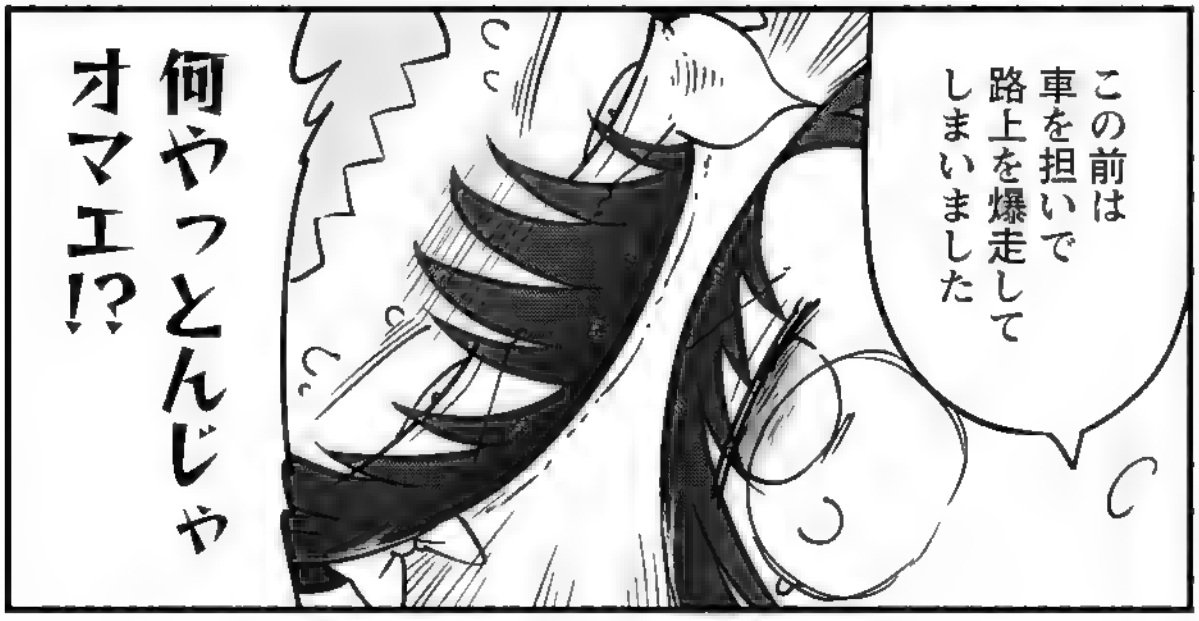
それで何をしにきたんです
おば…
お姉ちゃん
お前の様子を見にきたに決まっとろうが
エルマ…お前は調和勢として真っ当に人々を導いていくと言って旅に出た
それが余所様の世界で何をしておる？

世界の掟を忘れおったのか？
ドラゴンはこの世界の秩序を乱す
う…うぐぐ
ビシッ
あ…エルマと初めて会った時にトールに言ってたやつだ

何…別に咎めようというわけではない
秩序さえ乱さなければよいのじゃ
儂はお前を信頼しておる
恐らくお前はこの世界では目立たぬように振る舞っておるのじゃろう？

いえ…
初登場時に
小林さんの家を
半壊させました
しし
なんじゃとー!?


トールと
決闘して
どこかの
高原の地形を
変えてしまい
ました
ななな
んじゃとととー!?


この前は
車を担いで
路上を爆走して
しまいました
何やっとんじゃ
オマエ!?

エルマ貴様ァ!?
外様(とざま)で
そのザマ
儂の信頼
無様に
真っ逆さま
じゃぞー!!
おばあ様
韻(いん)を踏むの
やめて
ください
ちょっと
エルマ…
そんな正直に
言わなくても…
はっ そうか
嘘をつけば
よかった!
嘘はつかんで
よいわ!!

儂はお前の
正直なところは
好きじゃよ うん
己の
あるがままに
生きるお前は
周りにウケも
いいしな…
何より
かわいい!
可愛さが
あれば儂は
大抵のことは
許すぞ!

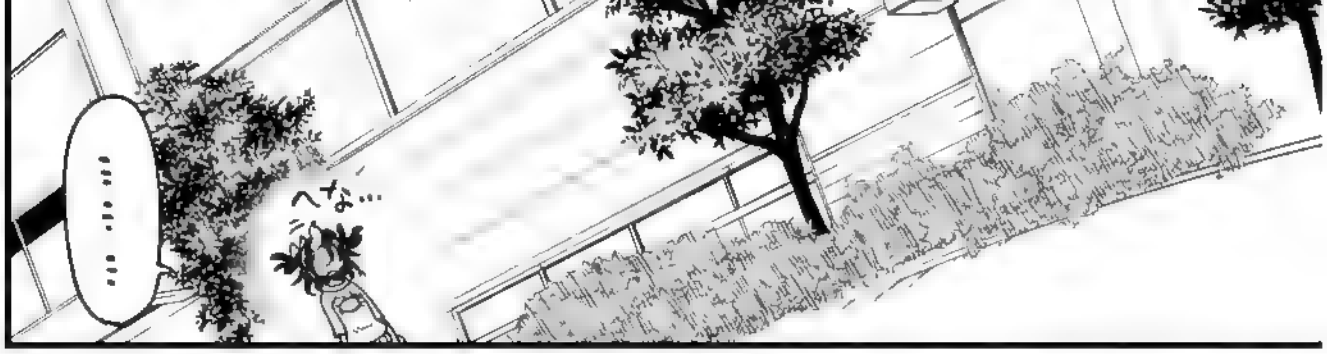
しかしの…
ケジメも
必要での…
儂も様子見を
口実に孫を
かわいがろうと
いう気持ちも
あるのじゃが…
だが 世界の掟は
個人の感情で
曲げられるような
ものでもなく…
あっ
すいません
仕事もあるので
話は後でも
いいですか?
え?
あ 長い?
儂の話
長かった?
よく言われて
気にしては
いるのじゃが…

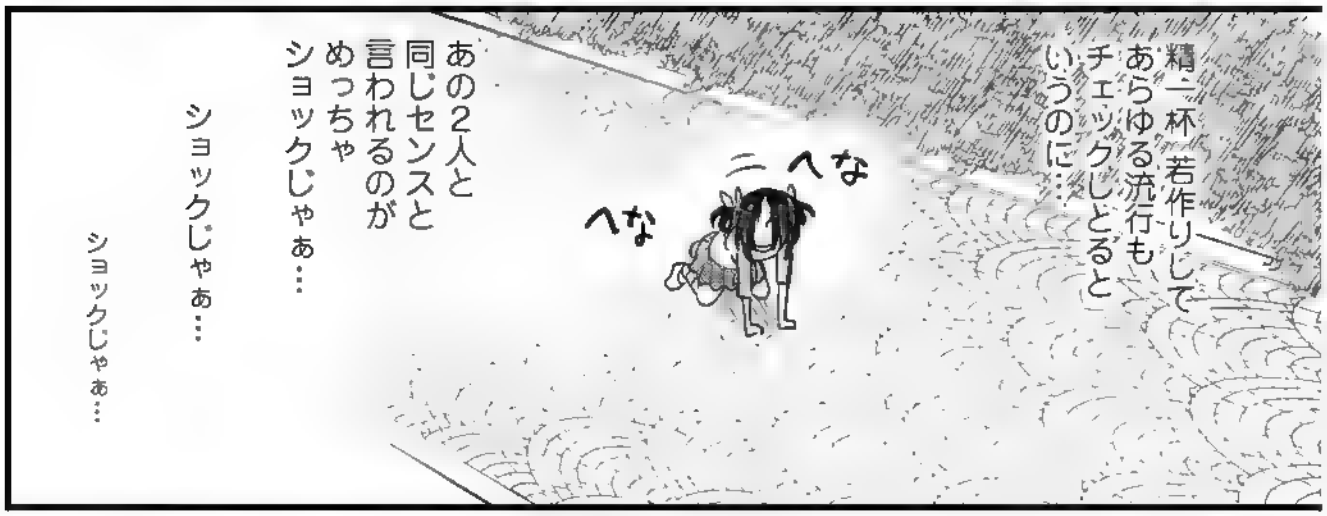
ん？
仕事？
エルマよ…
ずいぶんと
干渉して
おるよう
じゃな…
何だか
ここでの
お前が心配に
なってきたぞ
う…
ジト…

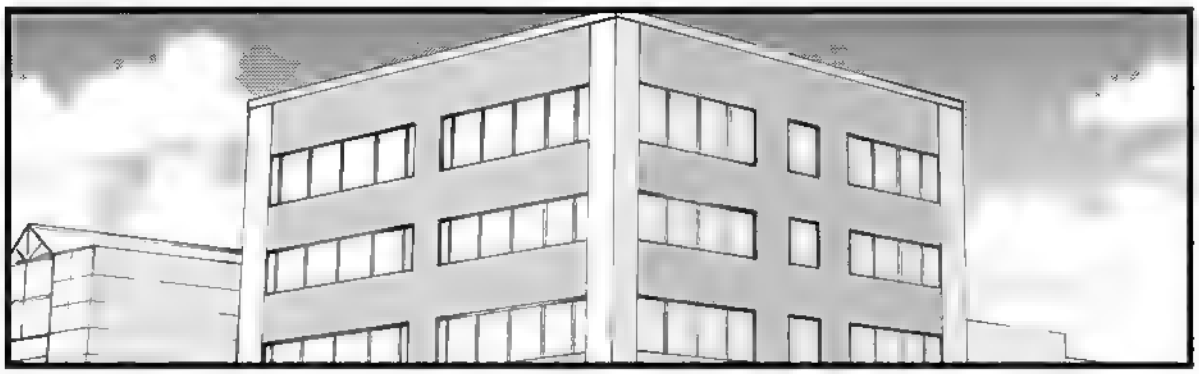
むむむ
よし…
仕事の様子を
見せるのじゃ
!?
上手く人間に
溶け込んでおるか
チェックして
やろう

そして…もし
上手くいって
なかったら…
儂はお前を
連れて帰る！
!!?

ふふふ…
ピピっておる
ピピっておるな…
こいつらは
儂をナメておるから
ここらでピピっと
威厳を見せぬとな…
さぁピピれ!!
その台詞…
テルネちゃんで
3人目…
あの
親コンビの
次
三番煎じ
なのか
ちょっと
慣れちゃって
驚くリアクション
取りづらい
……
あー でも
エルマを
連れ戻されたく
ないですね
重要な戦力
ですので
やめてくれ
小林さん…
照れる…
なので
しっかり
働いてるとこ
見ててね
テルネちゃん
じゃあ
戻ります
おばあ様!
……
おわー
時間
すぎてる!
急ごう!


へな…
……


精一杯若作りしてあらゆる流行もチェックしとるというのに…
へな
へな
あの2人と同じセンスと言われるのがめっちゃショックじゃぁ…
ショックじゃぁ…
ショックじゃぁ…



※認識阻害中
てく
てく
これは何をしておるのじゃ…？
皆一心不乱に箱とにらめっこしておる…
むむ…？

あれ？
スマホ使って
なかった？
PCとか使ってる
ものかと
ひそ
ん？ あれと似た
ようなものか？
つまり
遊び道具か！
けしからんのぅ！
どういう
用途で持ってたか
わかったよ

遊び道具じゃ
ないよ
皆 真剣
でしょ？
うむ…
早く帰って
遊びたい!!
遊びに
真剣…
eスポーツと
いうことか…！
知識
偏ってるなぁ
ほら エルマの
様子も見て
しっかり
真面目に
働いてるよ
……

…待て
あやつ…
あ エルマちゃん
お菓子いる？
いる！
エルマちゃん
おやつ作って
きたの！
ありがとう！
エルマくん
ほら この前
頑張って
くれたから
クリームパンを
あげよう
やったー！
すっかり
餌付けされておる
ではないか
テルネちゃんも
お菓子あるけど
いる？
いる！
儂は
子供扱い
されると
嬉しい
節々から
色々
漏れ出て
いるけどね

その後…
テルネちゃんは黙ってエルマを見ていた
孫を思う祖母って感じかな？
……この仕事…
端から見てるだけではめっちゃつまらん

さて 儂は
そろそろ
帰るかの…
外まで
送るよ

人が
悪いなぁ
威厳あること
何か言いたい
お年頃
なのじゃ
なはは
許せ

エルマは
大喰らい
じゃからな…
食い扶持のために
仕事を始めた
ことくらい
わかっておったよ
！

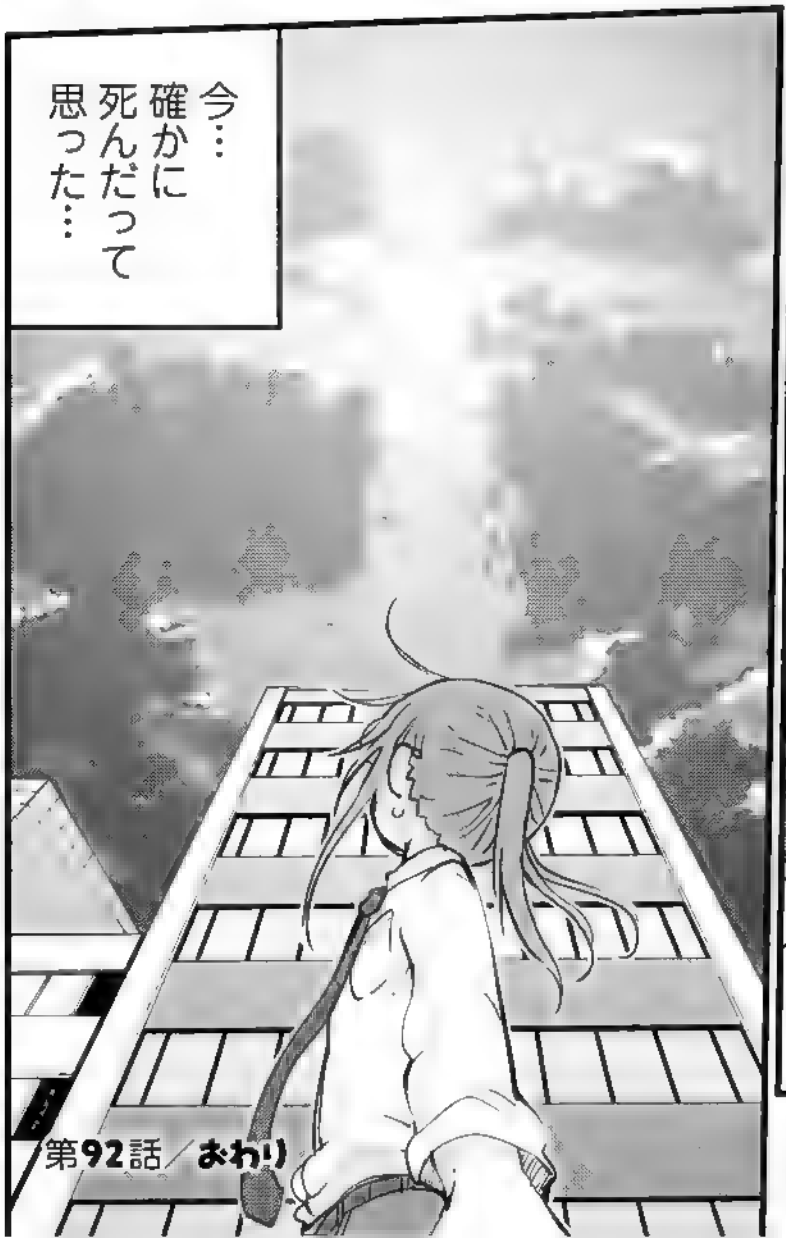
小林よ…
この世界は
可愛い物で
満ち溢れて
おるのぅ
そう？
お前は
あんまり
可愛く
ないがな
悪かったな…

エルマが
この世界に
居座って
暮らしたいと
思う気持ちも
わかる
今日は
連れ戻す口実が
見つかったと
思ったんじゃがのぅ…
えー
ちょっと
本気だったの？
会社の戦力
引き抜くなんて
許さないよ？

力ずくでもか？
ミシ…
え？
ついわ。

ズズン…
冗談じゃ…
儂は調和勢じゃぞ？
そんな力ずくな真似はせんよ
チッ
少なくともお前が生きてるうちはそうはならんはずじゃ！
仲良くやっていくとも！
それじゃあな小林！

……
ヒュウ…
3人目…
いや 3回目だ…
うおっ!?


今…
確かに
死んだって
思った…

第92話／おわり

おばあ様と
いっても
何世代も離れた
尊敬すべき立派な
歴史を持つ…
へぇ…
ｶﾒｵ!!

小悪魔ビギナー
ドラゴン

第93話 アーザードとジョージーII

また
お会いできて
よかったです…
あの時 お名前も
お聞きできな
かったですし
……
クソ！
また変態と
遭遇して
しまった

ほら
小林さん！
この前
話した人
ですよ
サッ
あー…
あの執事服が
似合いそうな…
ゲッ!?

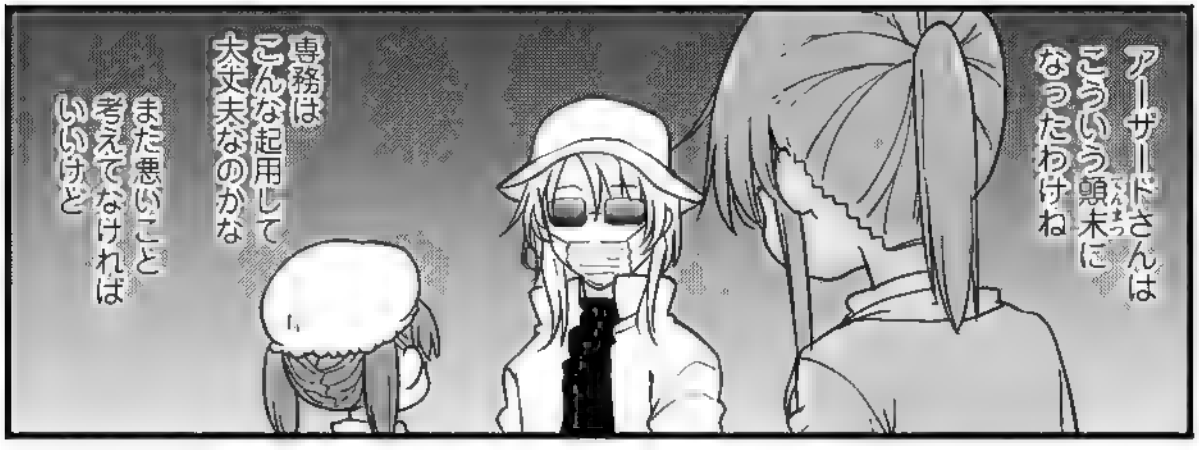
小林…!!
俺の計画を阻止した
よく…わからない奴…

それで…
私の名前は
ジョージーと
申します
小林です

ゴソゴソ

興信所
マルチディテクターズ
浅戸建
浅戸です
ス…
浅戸さんっていうんですね！
興信所…？初めて見た
危ねぇ…偽名と名刺作っておいてよかった…
で興信所ということは今は誰かの調査を？
ジョージーさん仕事中みたいだし…
確かあちらを見て…
いやまぁ…
あの行列を見てらしたんですか？
あら滝谷さんとファフニールさんがいらっしゃいますね
知り合いなのかよ…
……

……
なるほど


アーザードさんは
こういう顛末に
なったわけね
専務は
こんな起用して
大丈夫なのかな
また悪いこと
考えてなければ
いいけど

まぁ
ちょくちょく
見てますけど
大丈夫です
それに
殺そうと
思えば
いつでも
殺せます
スッ…
トール
KORO
SUNA
認識阻害中
私と同じで
もう力もない
ただの人か…
浅戸て…

どうする…
このまま
調査を続行
できるか？
日を改めても…
むむ…
小林さん
どうしたのさ

列 出ちゃっていいの？
ああ そもそも出遅れ組でね
あれは当日券の列なんだよ
あれ その人は？

紹介するね 彼は浅戸さん
探偵さんです
スッ
へー 初めて見たよ

あ 僕は滝谷と申します…
あ これはご丁寧に…
ほー
名刺交換に新鮮な気分を味わっている
もう1人連れがいまして…
おーい ファフ君！
!?
俺はこのまま並んでいるぞ

こ こいつ
ファフニールに
対して
固有の呼び方を
している…
何者だ？
小林の
会社の
同僚…
しかし こいつも
小林と同じように
魔法やら使うかも
しれん…

興信所…
秘密の調査とか
なさっているん
ですか？
そういう
探偵みたいな
憧れるなぁ
ﾆﾏﾘ…
……

この表向きは
にこやかな
態度…
裏がある人間が
身にまとう物だ
？
俺と同じ
タイプと
いうことか…
警戒
しなければな

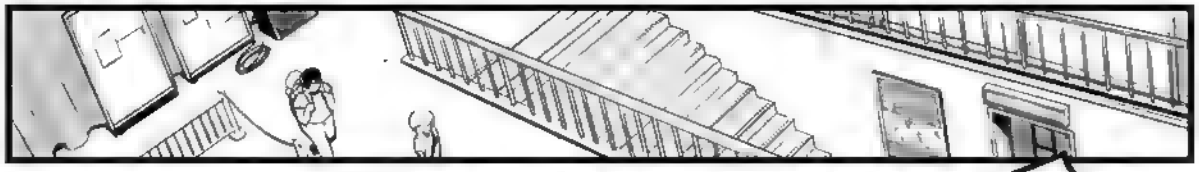
待てよ…！
こいつらを
利用すれば
ファフニールの
調査がうまく
いくかもしれない

ずっと
部屋にこもり
何してるか
わからなかった
からな…
出てこねぇ…
思い切って
懐に飛び込むのも
大事か…
ちょっと
いいかな？

実は あの行列に
調査対象の人が
いるんだけど…
不自然に
ならないように
友達のふりして
近くに並んで
いいかい？
まぁ…
構いませんよ
私達も
並ぶつもりで
来たから
よし！

ところで
これは何の列
なんですか？

ああ
この列は…



ご当地メイド
アイドル
グループ…

「パーラーズ」の
ライブですよ

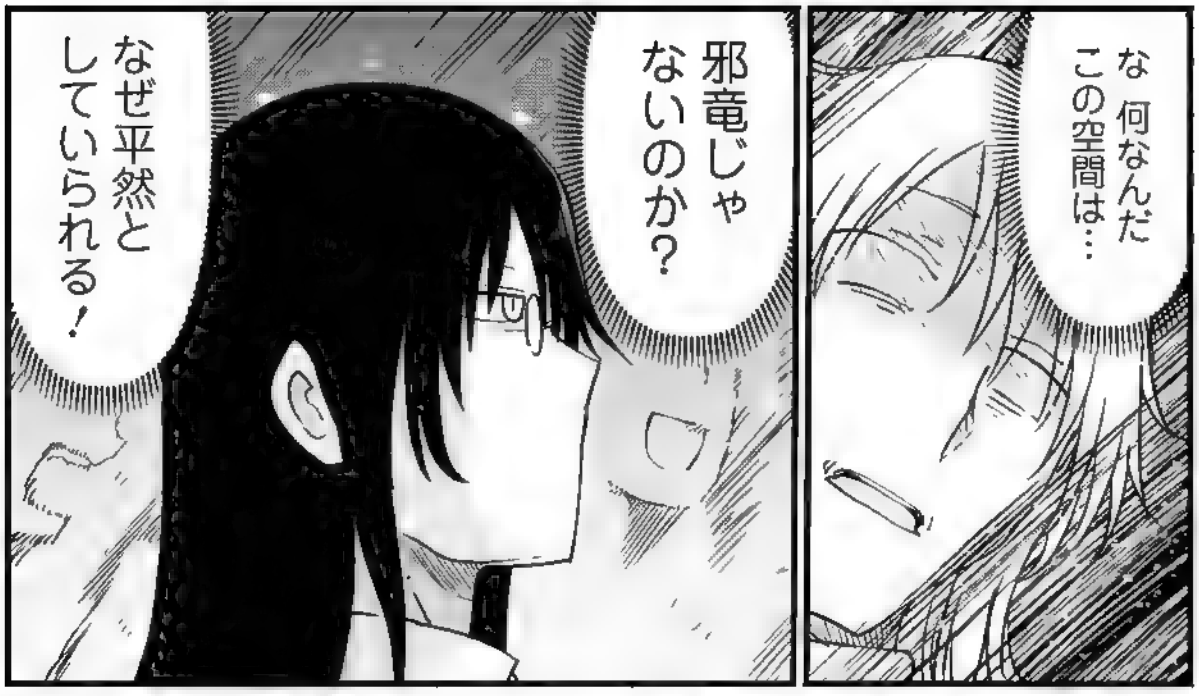
あ
あ
あ
あ
あ

トールと働いてるメイドカフェの人が始めたんだけど…
あれよあれよと人気になって今では定期的にライブをしてるんだ
メイドの心を広めるアイドル…素晴らしいです

えぇー何だこの空間は…
歌劇だというのはわかるが…
邪教の奇祭めいたテンションじゃないか…

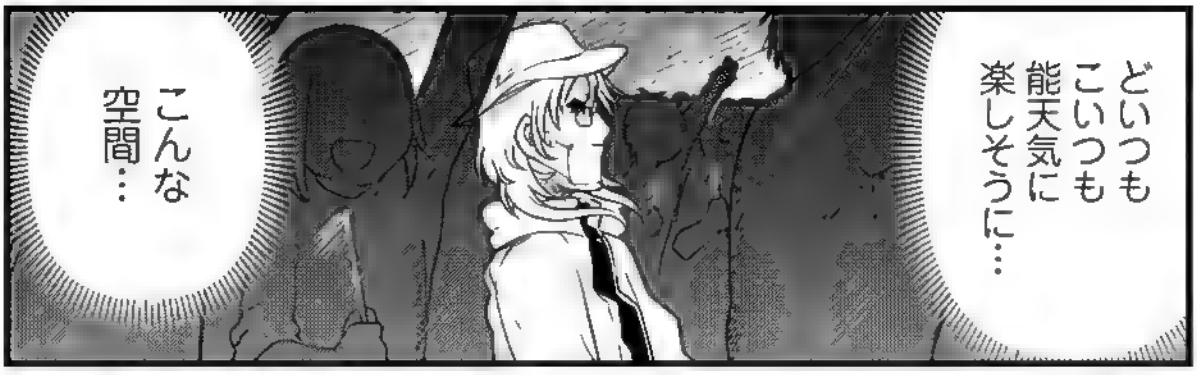
滝谷君…君はこういうの大丈夫なのか？
した 滝谷君!?
静かに…
コール&レスポンスに集中するでヤンス…
オオ オオ

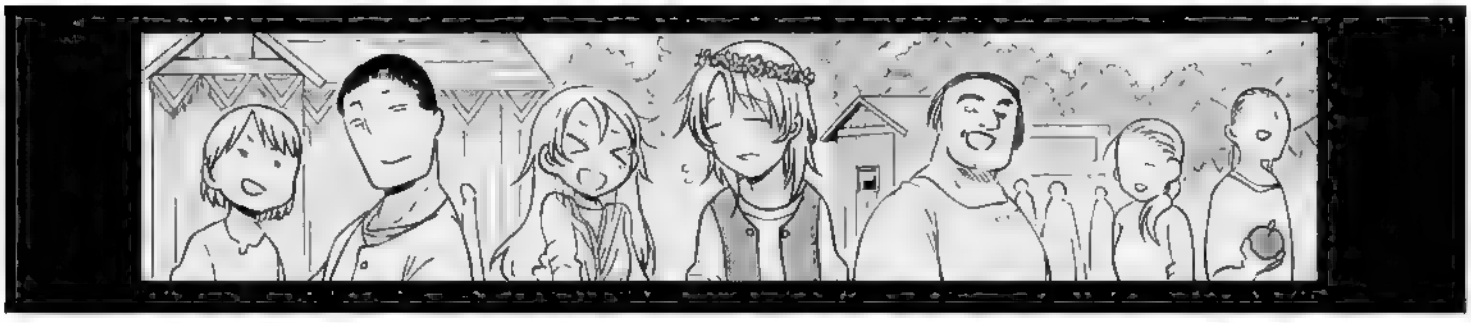
ア…

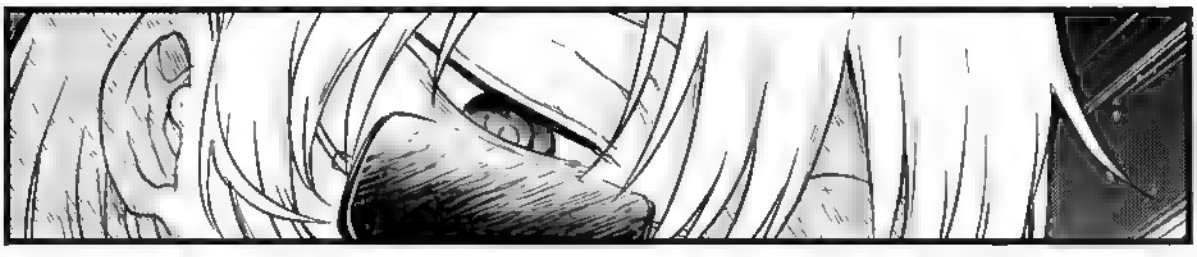

な 何なんだ
この空間は…
邪竜じゃ
ないのか?
なぜ平然と
していられる!

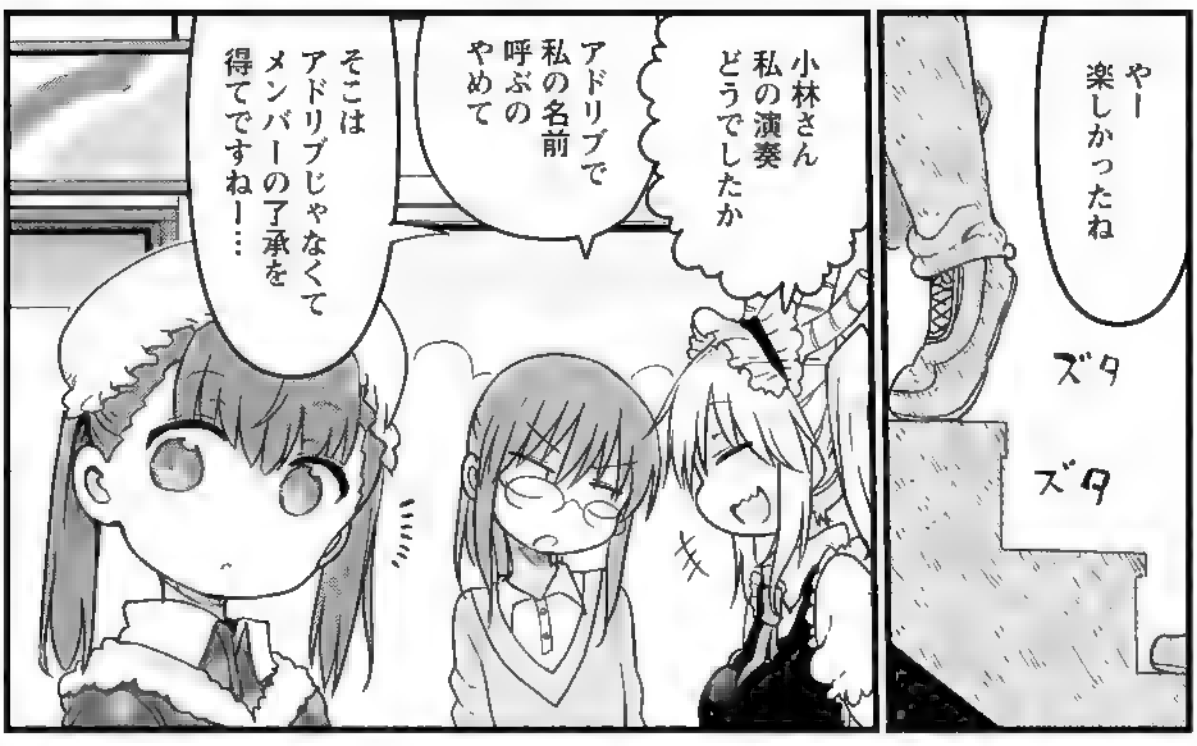
あんたの
裏って
それなのか!?
お前ら2人は
やっぱ変態だ!!
パーラーの
もてなしは
アイドルに
通じるねー
まさに!!

お前も壇上(だんじょう)で
何やってんだ!?


どいつも
こいつも
能天気に
楽しそうに…
こんな
空間…



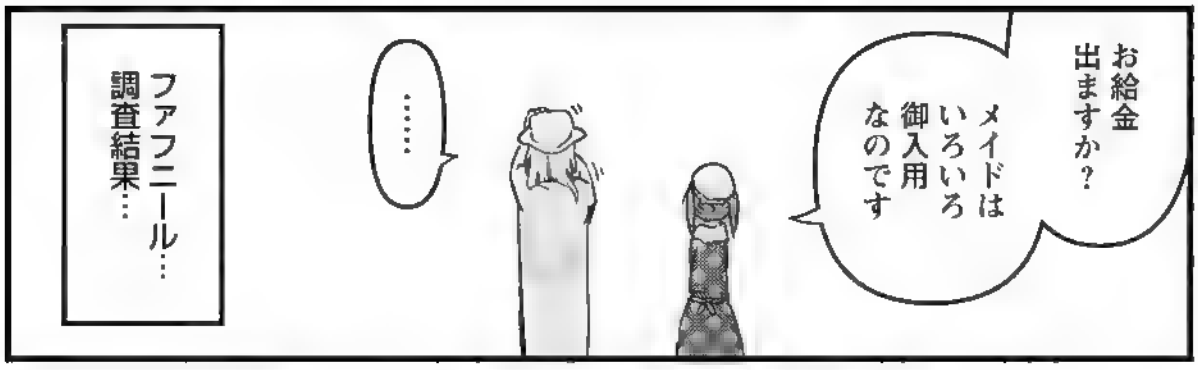



やー
楽しかったね
ズタ
ズタ
小林さん
私の演奏
どうでしたか
アドリブで
私の名前
呼ぶの
やめて
そこは
アドリブじゃなくて
メンバーの了承を
得てですねー…

どうしました？
…別に
何でも
ないよ
ご気分が
優れない顔を
なされています
……
お節介だな
メイド
ですから
人混みに入るのが
久しぶりでね…
少し酔ったんだ
苦手だったの
ですか？
それは気付かず
申し訳ありません…
いや…
そういう場に
いるのは好き
だったはず
なんだ…
だから…今
息苦しくなったのが
少しショックでね

私も
ハイテンションな
ところはついて
いくのが大変です
誰かと一緒に
盛り上がらないと
置いていかれて
しまいます…
俺は……
そんな情けない
奴じゃない…
なら…
次があったら
一緒に盛り上がり
ましょう
私を助けて
ください
くっ…
くくく…ッ
おかしい
ですか？
ﾌｯ…

おかしいさ…
何で何度も会う
気でいるんだ？
君は俺の
助手にでも
なるつもりか？
あ…
えっと…
助手ですか…


お給金
出ますか？
メイドは
いろいろ
御入用
なのです
……
ファフニール…
調査結果…

奇行は
目立つが
問題なし…
…本気に
しないで
くれ
同居人は
要警戒

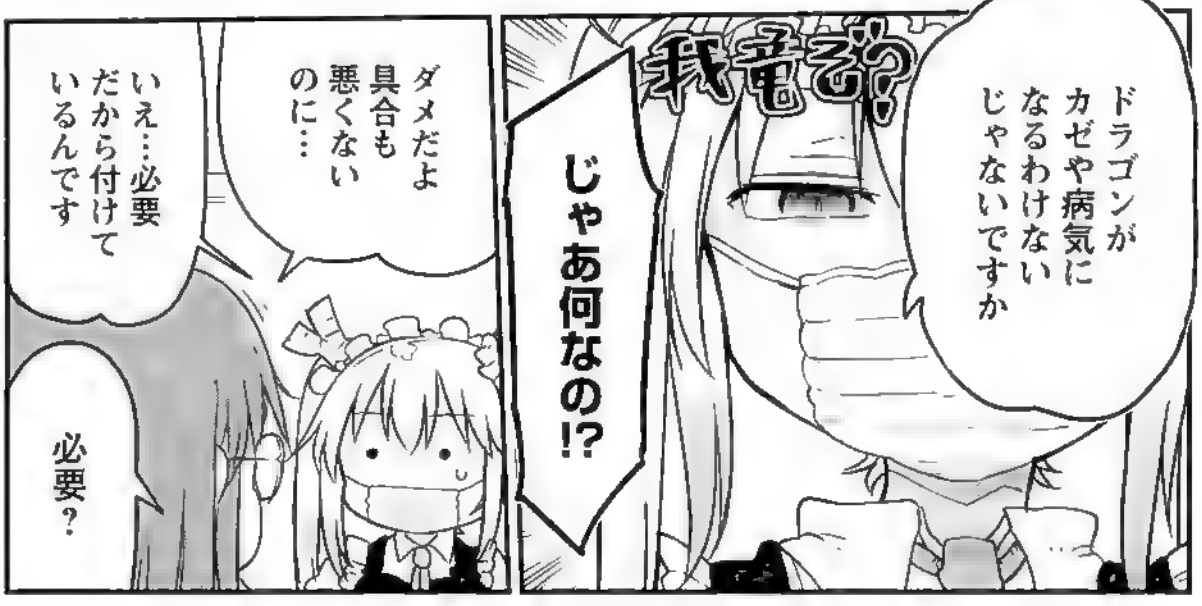
私 小林さんの
曲が歌えないので
このバンド抜けます
音楽性の
違いですね
そんな〜〜
コック長〜〜!!

小悪魔ヒロインと
ホイホイドラゴン

バシャ　バシャ
ふぁ～～～
あ

第94話 トールと逆鱗

え？
何…
カゼ？
大丈夫？


我竜ぞ？
ドラゴンが
カゼや病気に
なるわけない
じゃないですか
じゃあ何なの!?
ダメだよ
具合も
悪くない
のに…
いえ…必要
だから付けて
いるんです
必要？

深く説明
できませんが
お気になさらず!!
トールと
小林さんの
仲くらい心配
ご無用です!!
ふーん
いや すごく
気になるけど

え？ トールと小林さんの仲がですか!?
マスクの方ね
……
げきりん（逆鱗）
あごの下のうろこ
トール様の数少ない弱点
ちょこん
生えてきた？
恥ずかしいやつなの？
……
アアアアア…

……毎回
生えるたびに
取ってるんです
まだ出始め
だから…
生えきってから
取るんです
それまで
マスク？
それで……
マスクの下は
どうなってるの？
……
ヤ
です
えー 見てみたい
気になる…
コバヤシ
えっち
えっち
かな…？
コバヤシの
えっち——

なぁなぁ
めっちゃ気になる
あのマスク取らないか？
テテ
トールの弱みをゲットして下克上だ!!
ゴハンにデザートを必ず付けてもらおう!!
えっち
えっちなのか!?
でもデザートほしい…
気になってる…
だろだろ!?
私達でマスクはぎとり同盟だ!!

うむ うむ
ゴウン ゴウン
よし
私から行くぞ!!
何か策が?
トール!!
?
はだぷっ
そのマスクを!!
はぎとってやる!!
ドン
ガァア
無策

次は
私 行く
ピッ
トール様…
今日は一緒に寝よ
トコトコ
いいですよ
ん
のそ…
なるほど…
寝てる時か…
つか 寝る時も
外さないんだ
マスク…

今!!
スー
スー
パン
パン
油断もスキもないですね
憤怒(ふんぬ)の目…
怒り…
いや…
失敗ッ!!
ポイ
オーン

こうなったら
2人がかりだ
カンナ!!
おお!!
覚悟!!
いい加減に
しなさい!!
ぬおお
キーン
こ…小林の
番だぞ
えー
小林さーん
勘弁して
クダサイヨ〜
……
じゃあ
ひと勝負

ほーら
飲み勝負!!
トールを酔わせて
マスク取るよ
小林さんが
飲みたいだけ
なのでは…
ドン
鬼殺し
バレた?
まぁ…さ
くぴ
トールの弱いとこ
だって知りたいな
って思ったの
いつも強いとこ
ばっか見せる
からさ
でも そんな
恥ずかしがってる
トールを見れた
だけでも十分
酒の肴かな
もう…
だからさ
トールのマスクの
下は もういいよ
今は
飲もう
はい!

見せてよ
ナカァ～
気になるん
だもぉ～ん

滅多に出ない泣き上戸に…？
それに全然諦めてないじゃないですか
……
う～
スルッ…
小林さん酔ってるし…今ならいいか…
あ
ポロ

オデキ？
あ～～～ッ
そう見られるからさらしたくなかったんですよ～!!
ドラゴンなのにこんな弱そうなものできて本当恥ずかしくて…
硬くなればポロッといけるのに…
それに…
そう？
なんかぷっくりしててかわいいかも
ちょい
!?
おりゃ
くう
びっ
？
それにここすごく敏感で…
すっごくか…感じちゃうんです
へ――
くりっ
ひゃあああ

ん？ここ？ここがいいの？
ひっく
おお
※酒により自制不能
にゅく
あっ
い…ジア
ういういう～
スリスリ
キュ～～～
ぐぉ～～ゞバ
くたぁ……
びくんッ びくんッ
次の日
ふえええ
え？禁酒!?なんで!?
知りません！
プシュカ
これが逆鱗か…
毎日牛乳。
第94話／おわり

言わないように
してたのに
ガーン!!
乳首
みたいだな

小悪魔ビギナー
ドラゴン

♪
トールがバイトでいない間にビール買いこんじゃった♪
ガサッ
!?

うぅぅ
翔太君？
ブル…
ブル…

どうしたの？具合悪そうだけど…
ちょっと大丈夫？

翔太君…

ありがとう
小林さん…
ちょっと
楽になった
お腹 冷やし
ちゃったの？
いえ…
スッ

第95話 翔太と成長痛
スルル…
コォォ…
という
わけなんです

お腹に
タトゥーとか
ずいぶん
思い切ったね…
銭湯 入れなく
なっちゃうよ？
ち 違うよ
魔力紋だよ!!

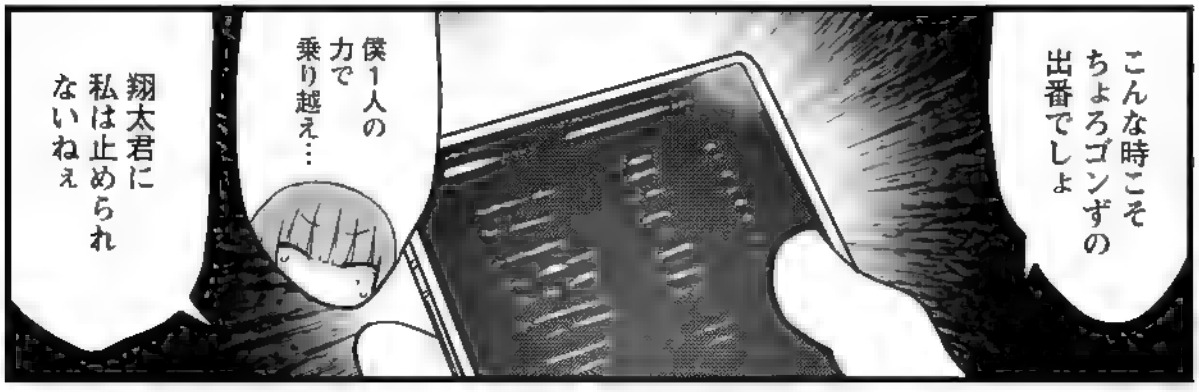
魔力紋…
えーっと
確か…
身体の中に
過剰に魔力を
蓄積すると
浮き出る
やつかな
そう
それです！

僕は最近
成長してきたのか
魔法量が
上がってきたん
ですけど…
魔力をため込む
器がパンパンに
なっちゃって…
器もそのうち
成長するはず
なんですけど…

その間 お腹が
はっちゃって
ちょっと
痛いんです…
魔法使い
特有の
成長痛って
ことかぁ…
そういう
ことです
翔太君
めっちゃ人間に
見えるけど
魔法使いという
種族なんだなぁ
でも人間も
学べば魔法使えたし
違いはなんだろう…？

魔法使いは
先天的に
魔力の器を
持っていて
人間は後付けって
差らしいです
え？
じゃあ
私はいつ…
イタタタ！
！

痛みを抑える
方法とか
ないのかな？
自分でも
調べたん
ですけど
なくてぇ～ッ


こんな時こそ
ちょろゴンずの
出番でしょ
僕1人の
力で
乗り越え…
翔太君に
私は止められ
ないねぇ

じゃ まず
ルコアさんに…
プルルルルル…

どしたの？
カリ…
翔太君が
1人で頑張るって
言うから せめて
見守ろうと…
へー 強引に
どうにかしちゃう
のかと思った
僕は
使い魔として
しっかり
主人の命令を
聞こうと
してるのさ
……
何か感じ
変わってる
ような…？
わかった…
じゃあトリで
聞くわ
さて すぐ
捕まりそう
なのは…
いや
だから…

どうしたらいいか知らない
私もよく知らないが任せておけ!!
ごめん 早速人選ミスをした…
……

まぁ待て…
紋が出るのは魔力の流れがそこで留まってしまっているからだ…
そこで…
わっ
ゴロン

身体をほぐすことで魔力の流れがよくなり少しは痛みが和らぐはずだ
わき
わき
え?
ちょ
おー私もやる
むに
むに
もみ
もみ
あダメ!そんな…
わひゃ…ちょっとくすぐったい!

ハッ
ジ
「僕も混ざりたい…」って目で見てる…
翔太の足細い…
もっと肉を食べた方がいい…
ひゃあああああ
肉は私が食べる!!
じゃ！ 才川と遊んでくる！
私もランチタイムメニュー巡りだ！
ダッ
ダッ
効いた？
ちょ…ちょっと効いてるのが悔しい…
けど まだ…くぅぅ〜ッ
えーと 次来れそうなのは…

私もなったことあるからいい方法を知ってるぞ！
ガシッ
本当？よかったね翔太君
でどうやってやるのイルル？
……
いや…やりたくない…
？
なんというかやっちゃいけない感覚なんだ…
キュウウウウ…
ごめんな
いや…うんそっちはそっちで大丈夫？

まったく…
ザッ
結局私頼りになるわけですね！
お 真打ち登場だね
イルルが言いたいのは魔力を吸い出せばいいということなんですよ
魔力を吸い出す？
どうやって？
それは…
ガサッ
！
……
ふふふ

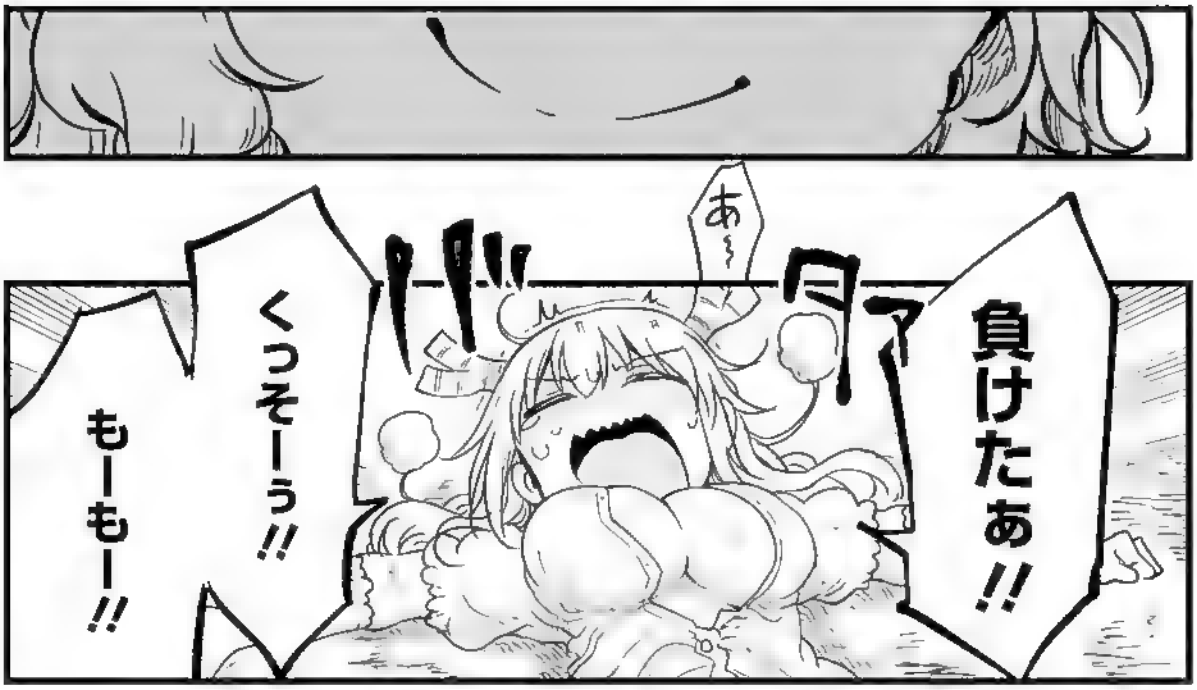
翔太君…
力を抜いてください…
え？
え？
スウ…
ルルコア？
スッ
……
文句があるなら
ニヤ…
勝負ですねぇ

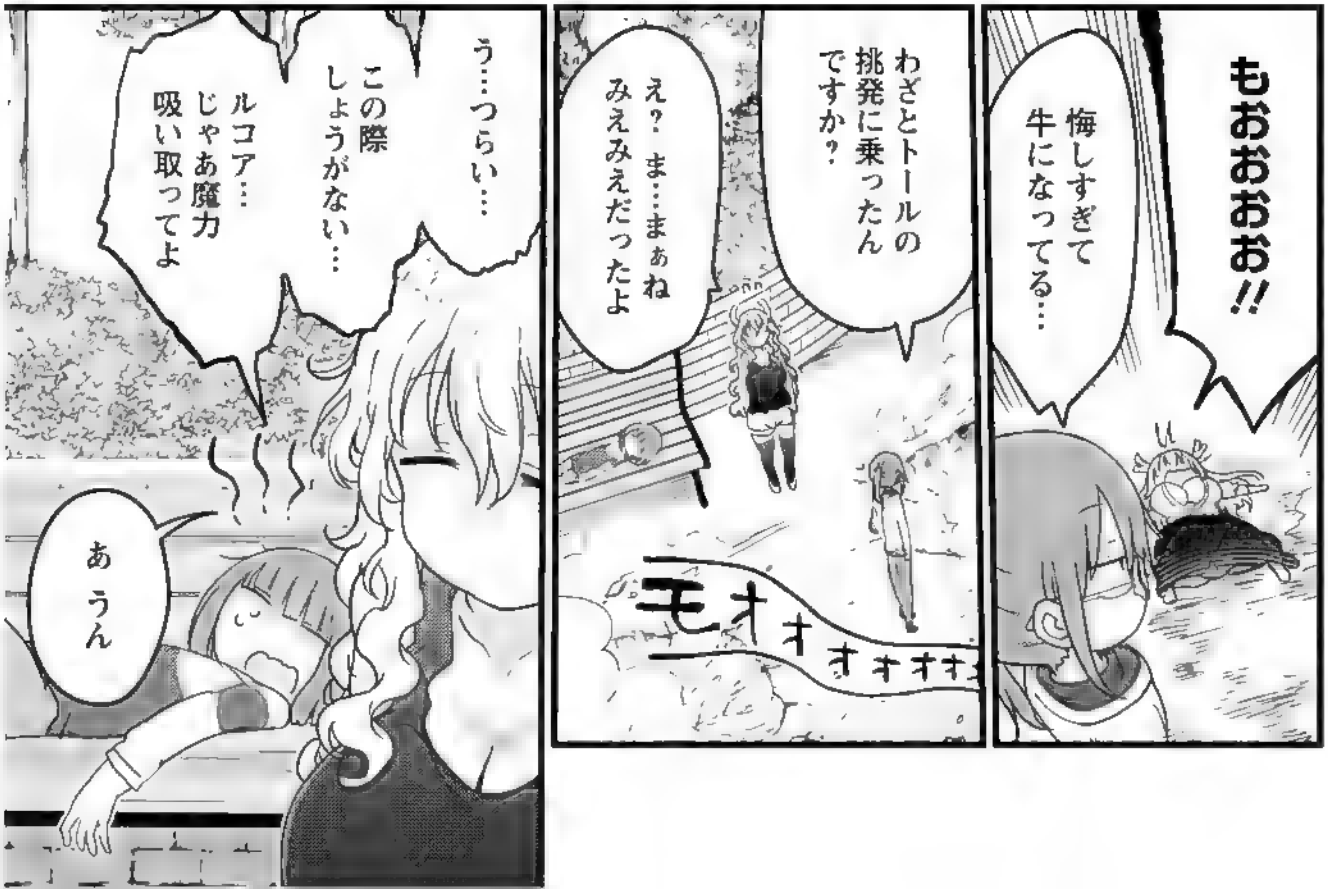
勝った方が翔太君の魔力を吸い出す！ということで
まぁ 実際は小林さん以外にそんなことするはずないんですが…
コキッ
ピキッ
あ…トールの奴ルコアさんと戦いたいから口実にしたな…
こ こんなとこで戦うつもりなの？
ピッ
結界どうも…
久しぶりに戦う気になってくれて嬉し…

コォオ

ズバ
初撃かわせた…！
戦える!!
まだまだ…
この程度じゃまだ最上位格には勝てないよ…
もっと強くならなきゃ…
じゃなきゃ…
運命の手綱を握れない!!
ルコアさんつよ…

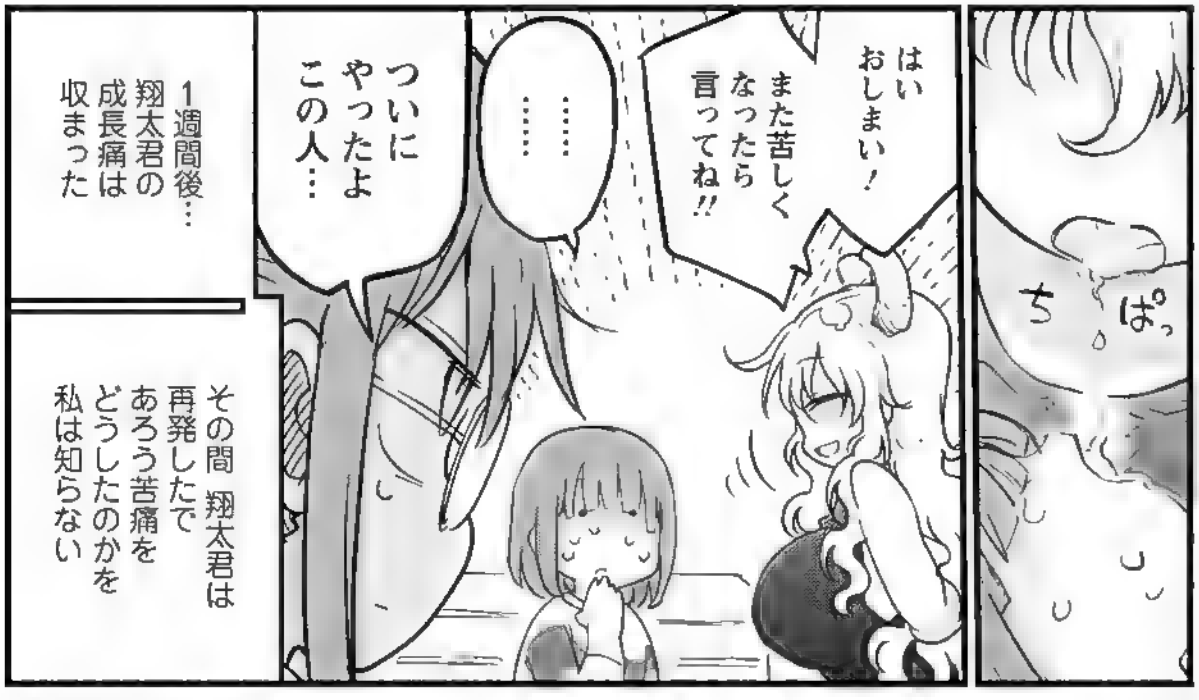
ドロ
グッ


負けたあ!!
あ~
くっそーう!!
もーもー!!


もおおおお!!
悔しすぎて牛になってる…
わざとトールの挑発に乗ったんですか?
え? ま…まぁねみえみえだったよ
モオオオオオ
う…つらい…この際しょうがない…ルコア…じゃあ魔力吸い取ってよ
あうん

ススス…
え？
ちゅ
んんっ

ん～～～
んッ
んんッ
んんんんッ


ちぱっ
はい
おしまい！
また苦しく
なったら
言ってね!!
……
……
ついに
やったよ
この人…
1週間後…
翔太君の
成長痛は
収まった
その間 翔太君は
再発したで
あろう苦痛を
どうしたのかを
私は知らない

この前
トールは
ルコアさんに
負けた
第96話
だから…
特訓
だとさ

第96話 トールとエルマⅢ

はぁ…はぁ…
まだまだ…
待て待て
もう夜になるし帰ろう
私は明日も仕事があるのだ
付き合ってあげたいのはやまやまなのだが…
む―
おわったー？
そうだ！うちにこないか？
今の戦いの反省点を話し合おう
それに夕飯をごちそうするぞ！
ま

いえ
私も夕飯の
準備が…
いいよ
行って
おいでよ
小林さん？
カンナとイルルは
私が外食にでも
連れていくからさ
たまには
旧交を
温めなよ
……
あの2人って
せっかく
仲直りしたのに
互いの生活を
よく優先
しちゃうからね
それって
ちょっと
もったいない
じゃない
ああいう仲って
私 結構いいなって
思うからこそ
大事にしてほしい
っていうか…
まぁ…
嬉しいじゃん？
友達同士の
復縁ってさ

って…私は
誰に言ってるん
だろうねぇ
ちら
君ってさ…
もしかして
あれでしょ？
トールに
刺さってた…
ザッ
会社の近くに
住んでたん
ですね
まぁな
さて…
キッ
あなた 料理
できるの
ですか？

何を言う！
2人で旅を
していた時は
私がしていたろ
そういえば
そうでしたね
なら 今は
手伝いますよ
大雑把な
あなたより
よっぽど上手く
できるように
なったんですから
ズリ
ん？
そうか？
どうだ？
うまいもん
だろう？
もぐもぐ
あの頃と
大して
変わって
ないですよ
お前の作った
みそ汁
うまいな!?
毎日 作って
いますからね

毎日 作って
ほしいくらいだ
何言ってんですか
私は
小林さんちの
メイドですので
…
この沈黙…
久しぶりだな

用もないのに
一緒にいて
話すこともないから
ただ黙ってる…

ただ
一緒にいる…

この時間…
昔は何とも
思わなかったが…
今は…

退屈です

何か話して
くださいよ

むっ

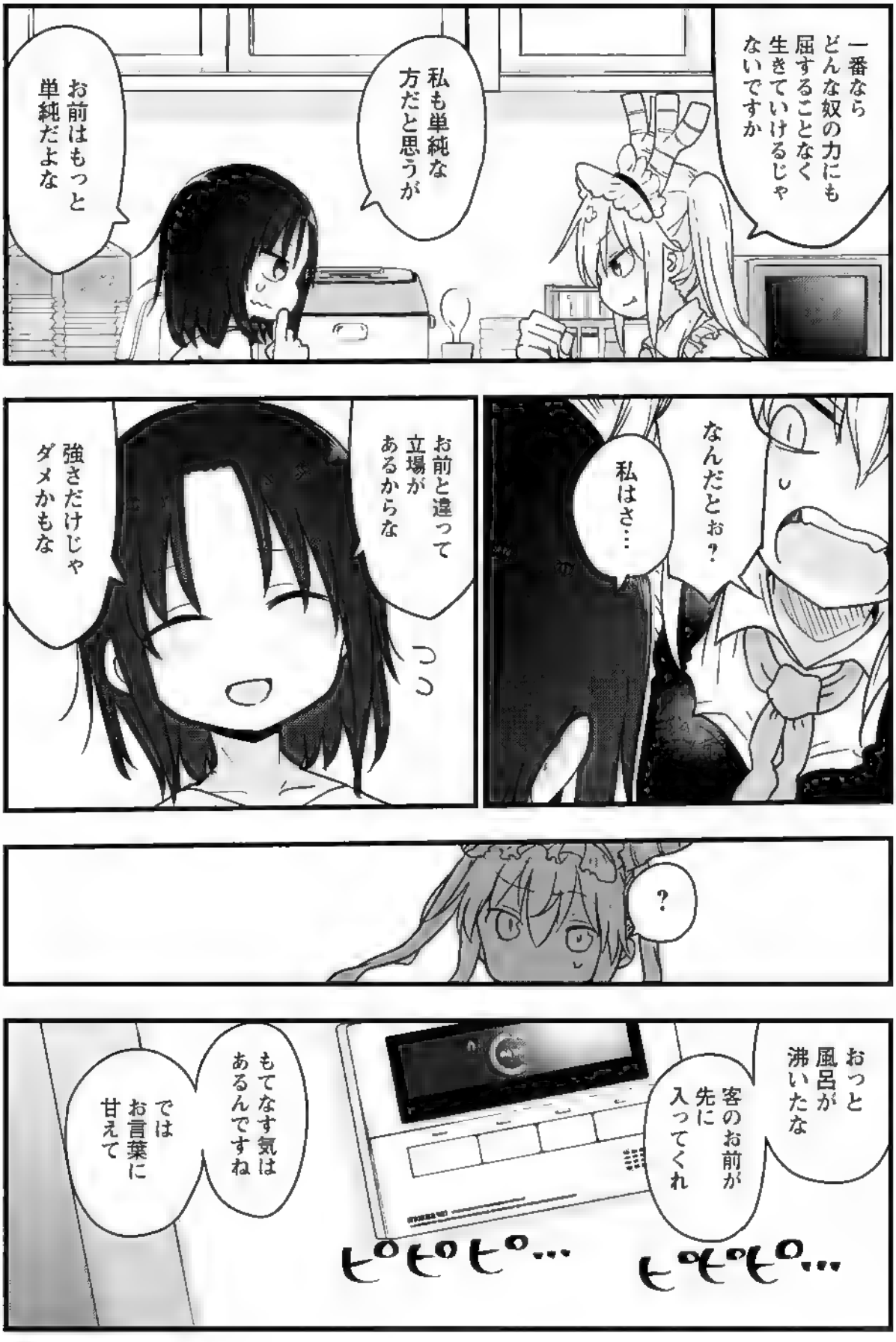
いや すまん…
こういう時間
久しぶりでな…

少し
懐かしんでた

同じこと
思ってるし

トール…
お前は今
十分 強いのに
まだ強く
なりたいのか？

一番が
いいです


一番なら
どんな奴の力にも
屈することなく
生きていけるじゃ
ないですか
私も単純な
方だと思うが
お前はもっと
単純だよな
なんだとぉ？
私はさ…
お前と違って
立場が
あるからな
強さだけじゃ
ダメかもな
？
おっと
風呂が
沸いたな
客のお前が
先に
入ってくれ
もてなす気は
あるんですね
では
お言葉に
甘えて
ピピピ…
ピピピ…

エルマ…
なんか様子が
おかしかった
ような…？
カポーン…
フー
おっと
もう
入ってるな
フッ
じゃあ
私も
カラ…
ええ…
狭いじゃ
ないですか

もー
って何
卵食ってるん
ですか!?
ん――
風呂に入りながら
食うとうまいんだ
ぱく
ぱく
トールも
どうだ?
酒もあるぞ
冷凍
キ
くいっ
!
…いい酒
持ってるじゃ
ないですか
エルマ
家に持って帰って
小林さんと
飲みたいですね
ホー
そうか?
つまみごと
持ち帰って
いいぞ
……
やっぱり
なんか
おかしい
ですね
あなたが
簡単に
食べ物を
譲るなんて
ん…

私達の仲…
じゃないか
……いまだに
私達はどういう仲
なのかわからない
気もしますがね…
私達は…
混沌勢と
調和勢…
勢力が違う
敵同士で
あり…
一緒に
旅した…
仲間の
ようであり
喧嘩して…
他人より
少し
遠くなって…
それで
泣き落とされて
今が
一番
近い…
チュッ…

……ん？
ザザッ

なんだ
この空気…

知らんぞ
この沈黙は…

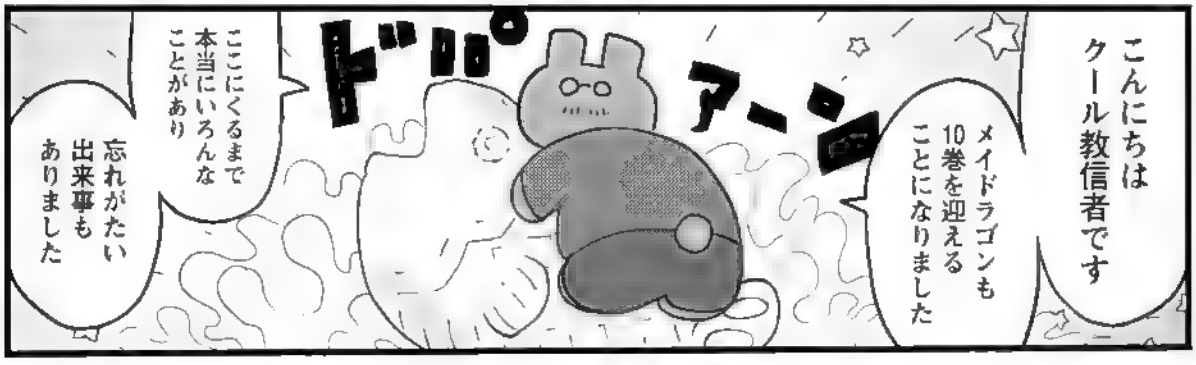
私には
小林さんが
いますからぁ!!
ニヤア
知ってるよ

?

さ! 明日も
仕事 終わったら
戦闘訓練
手伝ってやろう!
寝るぞ
トール!
ベッドは
一つしか
ないよう
ですが
2人寝る
広さは
あるだろう
……
なんで…
そんな
寂しそうな
顔した?

第96話 おわり

あとがき



アシスタント「生ゼンマイ様」「ジョヴァンニワークス様」

カバー折返し・1

クーン黒猫

10巻になりました。
いろいろな作品を
描いておりますが、
最初に到達したのが
メイドラゴンであることに
意味を感じたいと思います。

FUTABASHA

カバー・表

カバー・裏＋背表紙

GEKKAN ACTION

ISBN978-4-575-85476-3
C9979

雑誌 50203-51

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

11

クール教信者

双葉社

カバー折返し・2

Which ACTION is your next?

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン ①〜⑩ クール教信者

小林さんちのメイドラゴン カンナの日常 ①〜⑧ 木村光博／クール教信者

小林さんちのメイドラゴン エルマのOL日記 ①〜④ カザマアヤミ／クール教信者

小林さんちのメイドラゴン ルコアは僕の××です。①② 歌鷹／クール教信者

京都寺町三条のホームズ ①〜⑥ 秋月壱葉／望月麻衣／ヤマウチシス

シロップ PURE おねロリ百合アンソロジー

GROUNDLESS ①〜⑨ 彫待蛍太

派遣戦士 山田のり子 ①〜⑲ たかの宗美

みかづきマーチ ① 山田はまち

鉄人マコちゃん ① タカミ

天泣のキルロガー 全③巻 井上菜摘／雪原敬太

リベンジH 全⑫巻 仙道ますみ

Odds VS! ①〜㉑ 石渡 治

BARレモン・ハート ①〜㉟ 古谷三敏

カワセミさんの釣りごはん ①② 匿乃下キヨマサ

本橋兄弟 ①〜③ RENA

徳川の猿 ①② 藤田かくじ

異種族っ娘が子種をねだってグイグイくる アンソロジーコミック ①②

恥ずかしそうな顔でおっぱい見せてもらいたい 赤面おっぱいアンソロジー ①〜⑤

メイコの遊び場 全③巻 岡田素雲

ライジングサンR ①〜⑤ 藤原さとし

（2020年8月11日現在）

月刊アクション

毎月25日発売!!

http://webaction.jp

FUTABASHA

Cover Gallery

表紙・表

FUTABASHA

表紙・裏

FUTABASHA

月刊アクション発コミックスを
無料で試し読み!!

専用アプリをダウンロードして
読み取り用画像に「かざす」だけ!

※スマートフォン、タブレット端末のみ対応
（一部未対応の機種もあります）

読み取り用画像

読み取りには専用アプリ(無料)
のダウンロードが必要です

詳細につきましては、特設ページ
<http://webaction.jp/appDL/>をご覧ください。
左のQRコードを読み取るか、WEBコミックアクション
TOPページのバナーからも飛べます。

初出「月刊アクション」2019年11月号～2020年7月号

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン⑩

2020年 8月11日　第1刷発行

著　者　クール教信者
©coolkyousinnjya 2013

発行者　島野浩二

発行所　株式会社 双葉社　〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818(営業)　03-5261-4804(編集)

装　丁　LIGHTNING

印刷所　三晃印刷株式会社

製本所　株式会社ブックアート

落丁・乱丁の場合は送料双葉社負担でお取り替えいたします。「製作部」あてにお送りください。
ただし、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。
[電話]03-5261-4822(製作部)定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き
禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、
たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

webアクション　http://comic-action.com
双葉社ホームページ　http://www.futabasha.co.jp
(双葉社の書籍・コミック・ムックが買えます)

この物語はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

ISBN978-4-575-85476-3　C9979